

令和7年度第1回小金井市教育プラン検討会議次第

日時 令和7年4月21日（月）午後6時から

場所 小金井市役所第二庁舎8階801会議室

1 議 事

- (1) 会長職務代理者の指名
- (2) 児童・生徒アンケート報告書
- (3) 国・東京都の教育をめぐる動向
- (4) （仮称）第4次 明日の小金井教育プランの施策体系
- (5) ワークショップ
- (6) 今後の日程
- (7) その他

【配布資料】

- 資料1 小金井市教育プラン策定にかかるアンケート調査結果報告書
- 資料2 国・東京都の教育をめぐる動向整理
- 資料3-1 （仮称）第4次 明日の小金井教育プランの施策体系（案）
- 資料3-2 第3次 明日の小金井教育プランの施策体系
- 資料4 ワークショップについて
- 資料5 小金井市教育プラン検討会議等の今後の日程

小金井市教育プラン
策定にかかるアンケート調査
結果報告書

令和7年3月
小金井市

目 次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 報告書の見方	1
II アンケート調査結果	2
1 基本属性について	2
2 学校での取組について	5
3 主観的幸福について	26
4 悩み・相談について	30
5 部活動について	32
6 自由記述	35

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第4次小金井市教育プラン策定にあたって、小中学生の皆さまから学校での取組などについてお伺いし、計画づくりの参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	小中学生アンケート調査
調査対象者	小金井市立小学校5・6年生、小金井市立中学校1・2年生全員
調査期間	令和7年1月15日(水)～2月17日(月)
調査方法	WEB調査による本人回答方式
配布数	3,548件(小学校 2,029件、中学校 1,519件)
有効回収数	2,844件
有効回収率	80.2%

3 報告書の見方

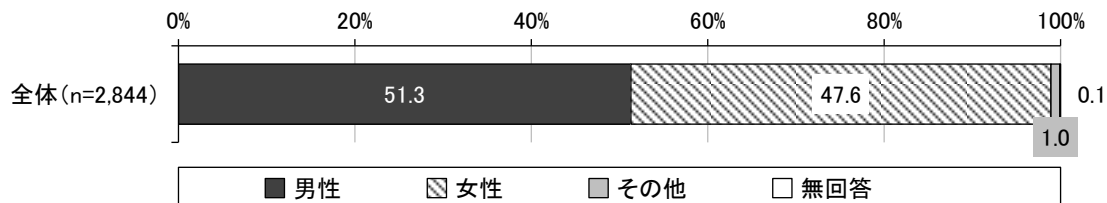
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

II アンケート調査結果

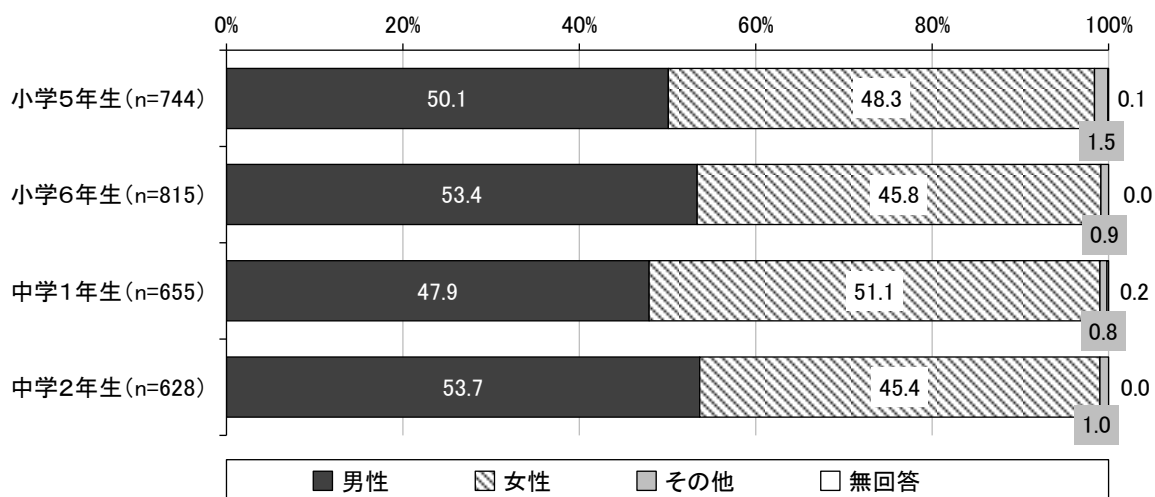
1 基本属性について

問1 性別をお答えください。(単数回答)

性別についてみると、全体では「男性」が51.3%、「女性」が47.6%となっています。
学年別にみると、中学1年生では「女性」、その他の学年では「男性」が最も高くなっています。



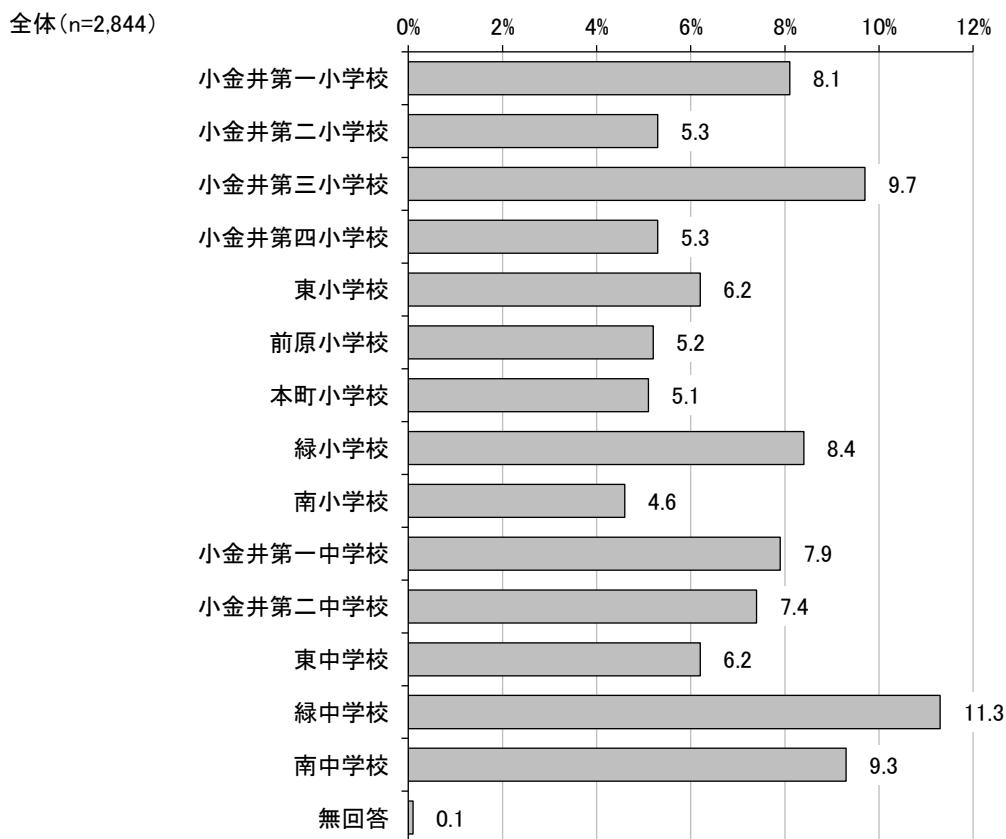
■ 学年別集計



問2 学校名をお答えください。(単数回答)

学校名についてみると、全体では「緑中学校」が 11.3%と最も高く、次いで「小金井第三小学校」が 9.7%となっています。

学年別にみると、小学5では「小金井第3小学校」、6年生では「前原小学校」、中学年生では「緑中学校」が最も高くなっています。



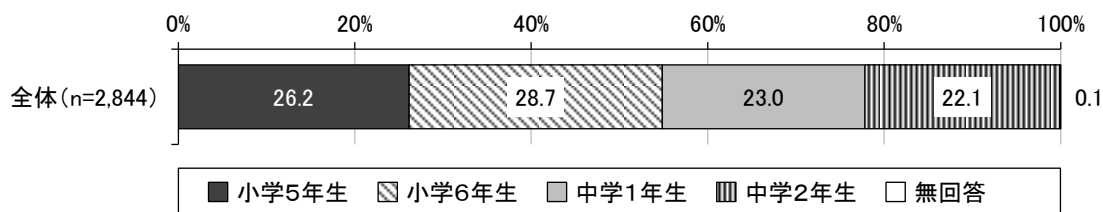
■ 学年別集計

単位：%		小金井第一小学校	小金井第二小学校	小金井第三小学校	小金井第四小学校	東小学校	前原小学校	本町小学校	緑小学校	南小学校	無回答
全体 (n=2,844)		8.1	5.3	9.7	5.3	6.2	5.2	5.1	8.4	4.6	0.1
学年	小学5年生 (n=744)	14.5	7.7	18.3	8.3	14.8	0.1	9.8	15.7	10.3	0.3
	小学6年生 (n=815)	10.4	9.1	16.7	10.7	7.4	17.7	9.0	12.9	6.1	0.0

単位：%		小金井第一中学校	小金井第二中学校	東中学校	緑中学校	南中学校	無回答
全体 (n=2,844)		7.9	7.4	6.2	11.3	9.3	0.0
学年	中学1年生 (n=655)	18.5	15.4	14.7	22.7	19.8	0.0
	中学2年生 (n=628)	16.6	17.4	12.6	27.2	21.3	0.0

問3 何年生ですか。(単数回答)

学年についてみると、全体では「小学6年生」が 28.7%と最も高く、次いで「小学5年生」が 26.2%となっています。

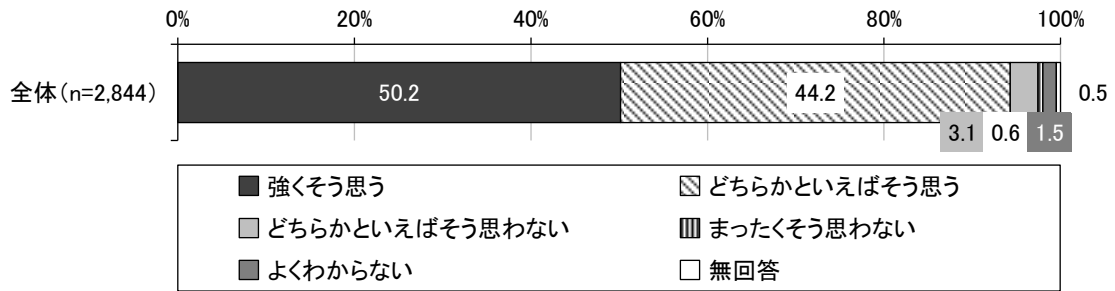


2 学校での取組について

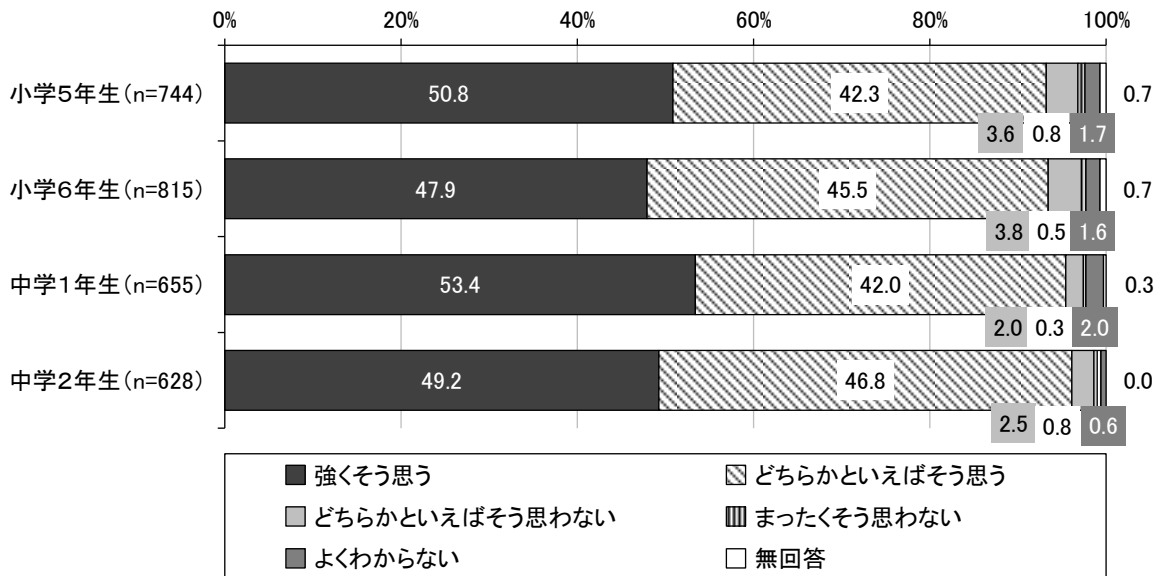
問4 学校の中で、自分と違う意見でも聞くように心がけていますか。(単数回答)

学校の中で自分と違う意見でも聞くように心がけているかについてみると、全体では「強くそう思う」が50.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が44.2%となっています。また、『そう思う(「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)』は9割台、『そう思わない(「どちらかといえばそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計)』は1割未満となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高く、『そう思う』が9割台となっています。



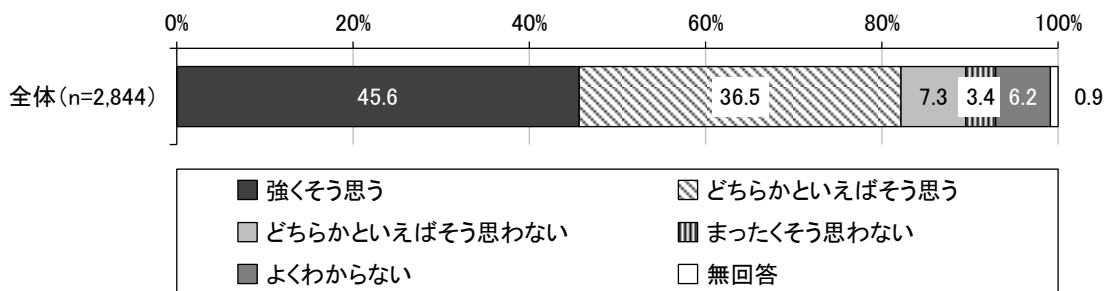
■ 学年別集計



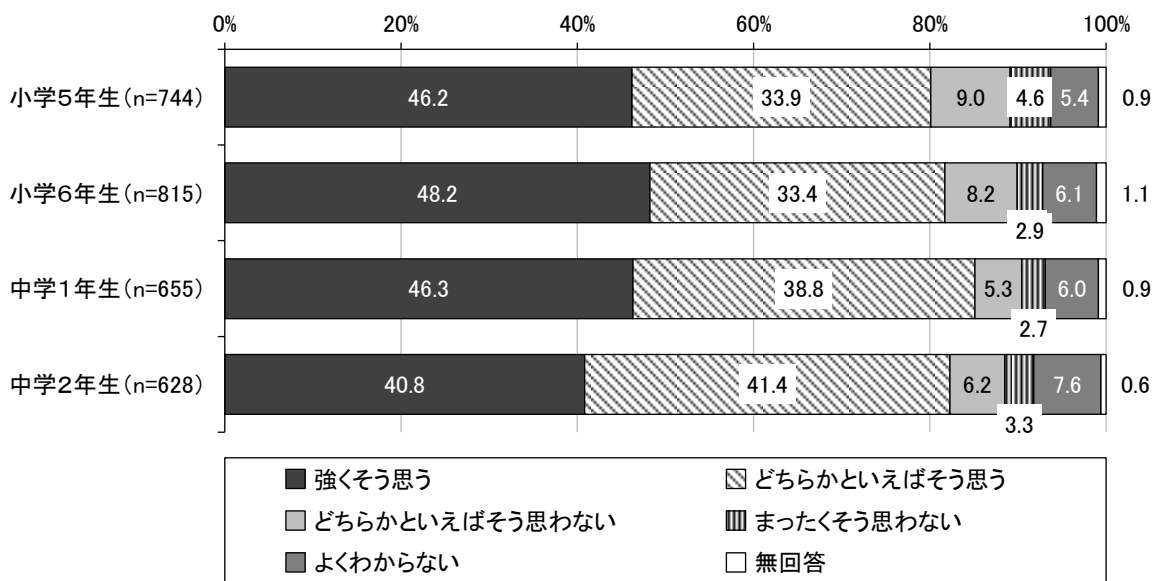
問5 学校の中で、いやなことを言われたり、されたりしたときに助けてくれる人がいますか。(単数回答)

学校の中で助けてくれる人がいるかについてみると、全体では「強くそう思う」が45.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.5%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、中学2年生では「どちらかといえばそう思う」、その他の学年では「強くそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が8割台となっています。



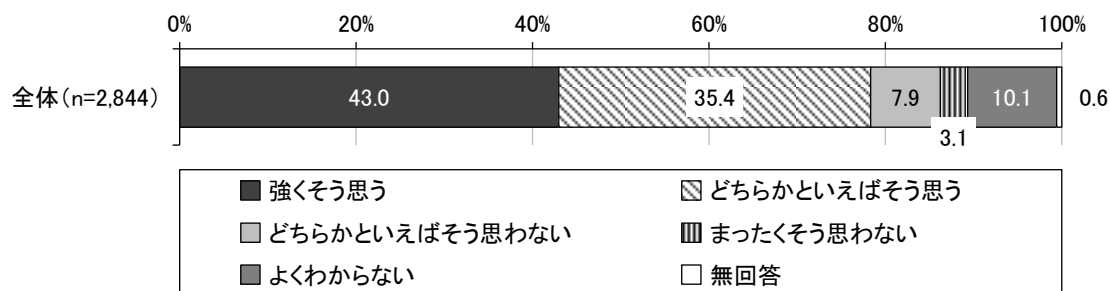
■ 学年別集計



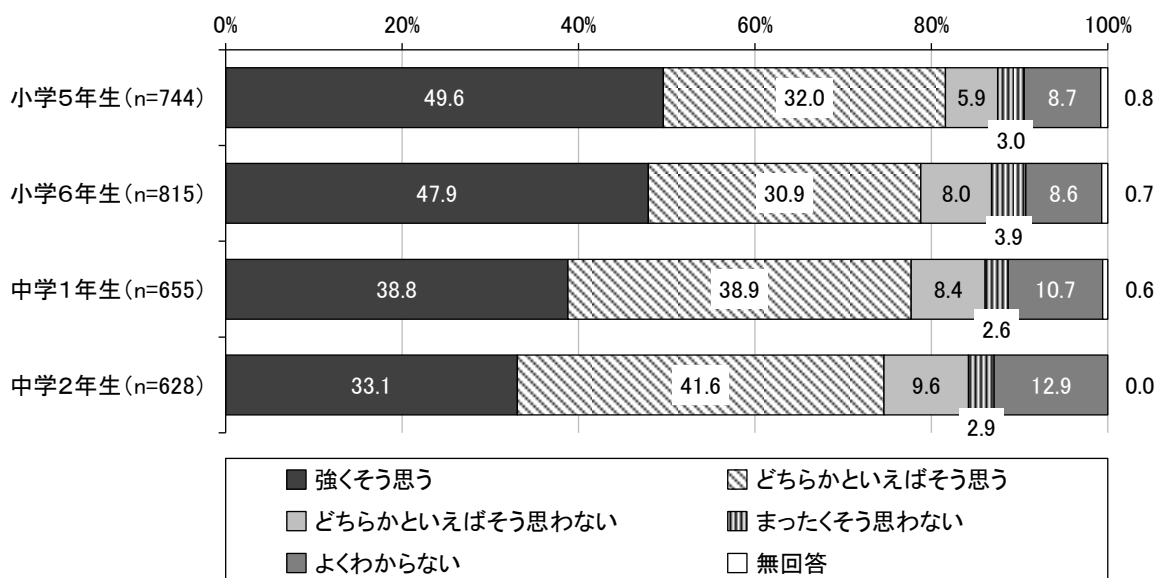
問6 学校の先生が、いじめを減らす努力をしてくれていますか。(単数回答)

学校の先生がいじめを減らす努力をしてくれているかについてみると、全体では「強くそう思う」が43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.4%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が7割台～8割台前半となっています。



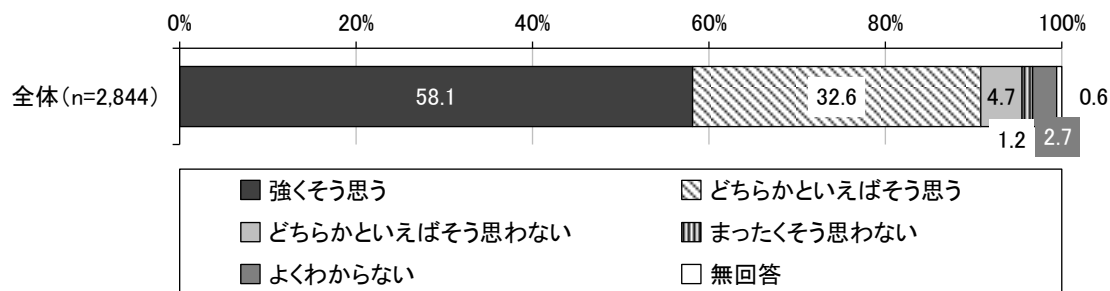
■ 学年別集計



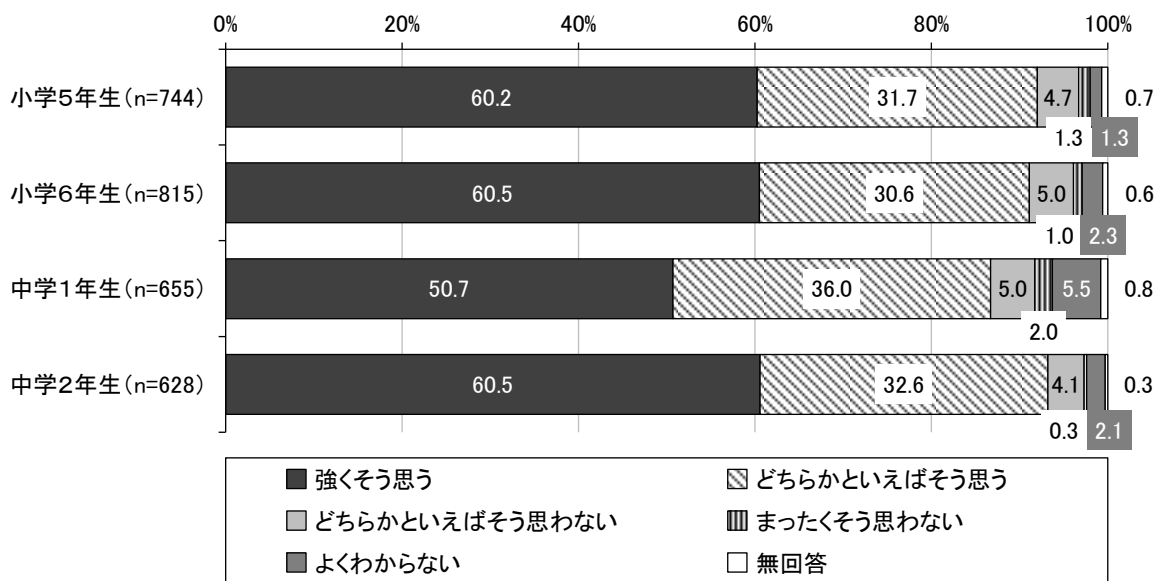
問7 学校の体験活動（社会科見学や校外学習、移動教室、林間学校など）で学ぶことが多かったですか。（単数回答）

学校の体験活動で学ぶことが多かったかについてみると、全体では「強くそう思う」が58.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.6%となっています。また、『そう思う』が9割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高くなっていますが、中学1年生では5割台前半とその他の学年と比べて低くなっています。



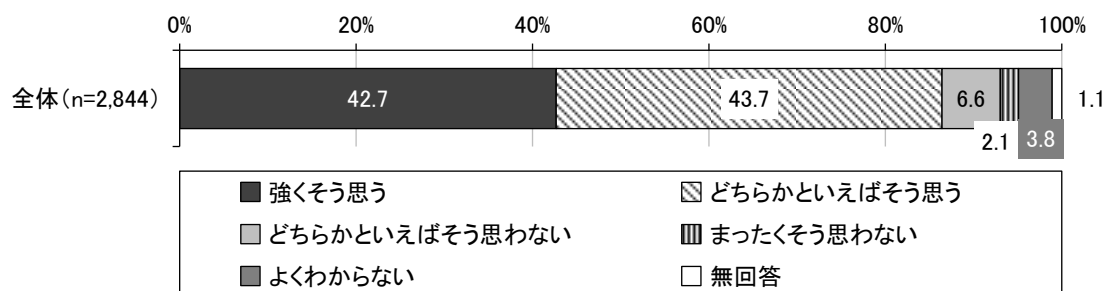
■ 学年別集計



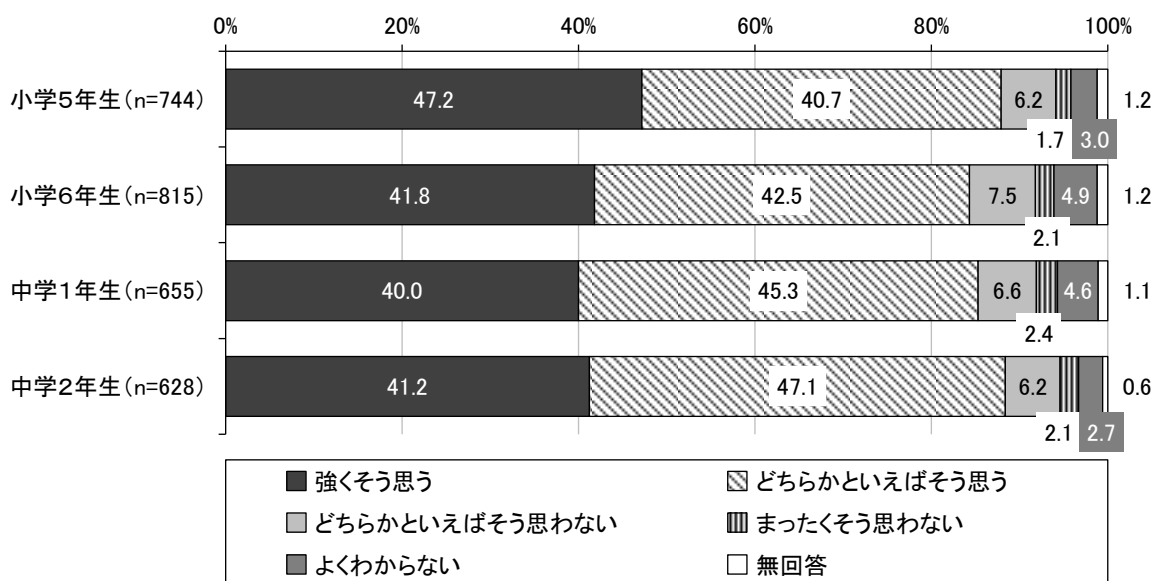
問8 道徳の授業をつうじて、人と共に生きる自分自身の生き方について、考えを深めるようになりましたか。(単数回答)

道徳の授業をつうじて人と共に生きる自分自身の生き方の考えを深めるようになったかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が43.7%と最も高く、次いで「強くそう思う」が42.7%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、小学5年生では「強くそう思う」、その他の学年では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が8割台となっています。



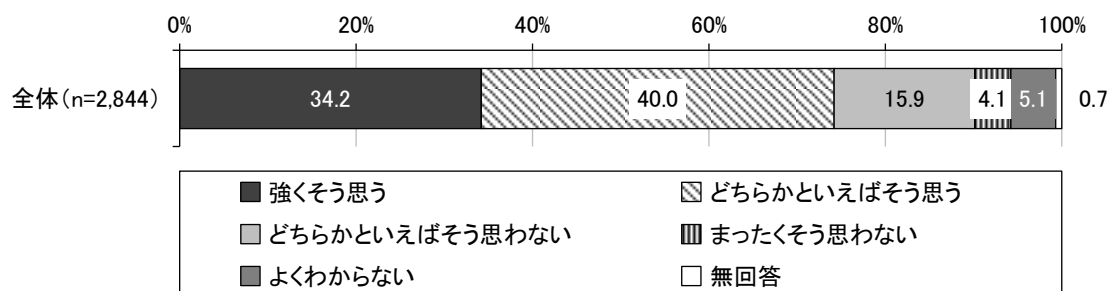
■ 学年別集計



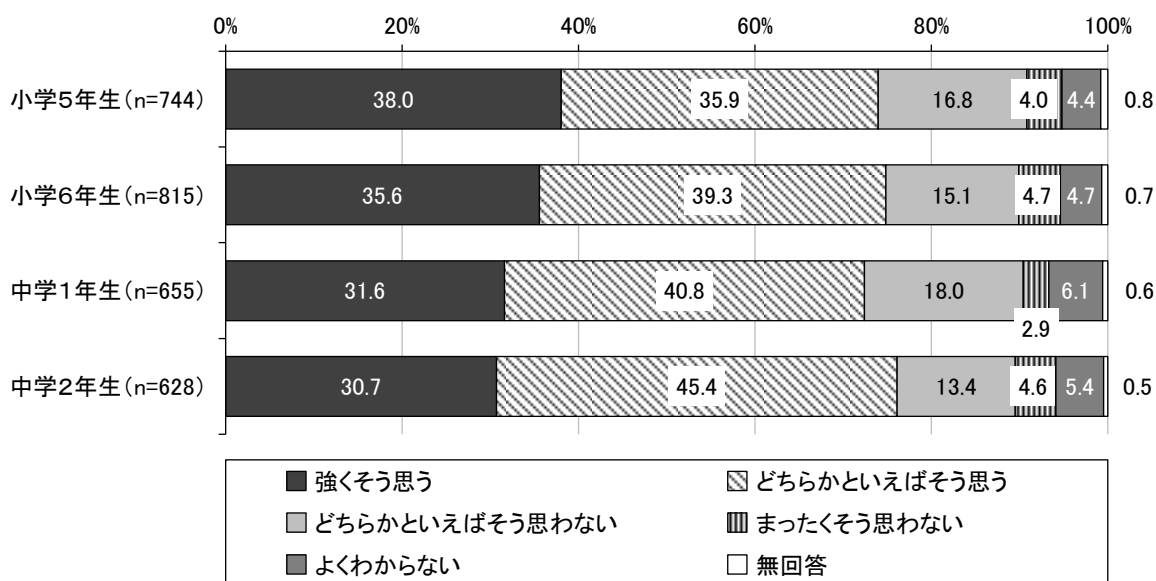
問9 学校全体や学年、クラスのルールを作る時に、自分の意見を言う機会がありましたか。(単数回答)

学校全体や学年、クラスのルールを作る時に自分の意見を言う機会があったかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が40.0%と最も高く、次いで「強くそう思う」が34.2%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が2割台となっています。

学年別にみると、小学5年生では「強くそう思う」、その他の学年では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が7割台となっています。



■ 学年別集計

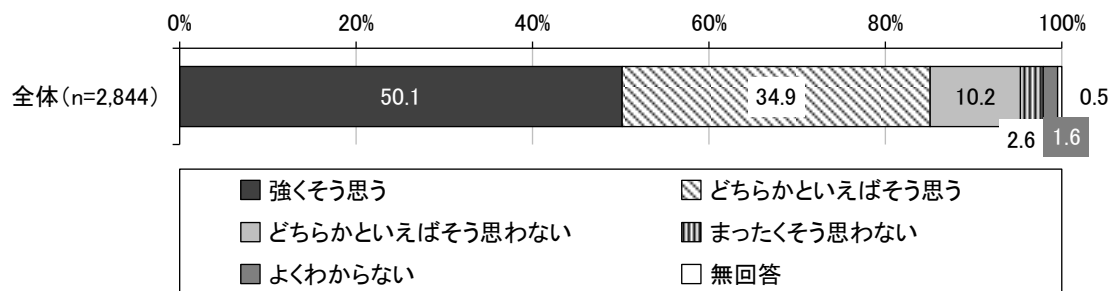


問 10 学校で朝読書や読書週間など、読書に関する活動が十分にあったと思いますか。

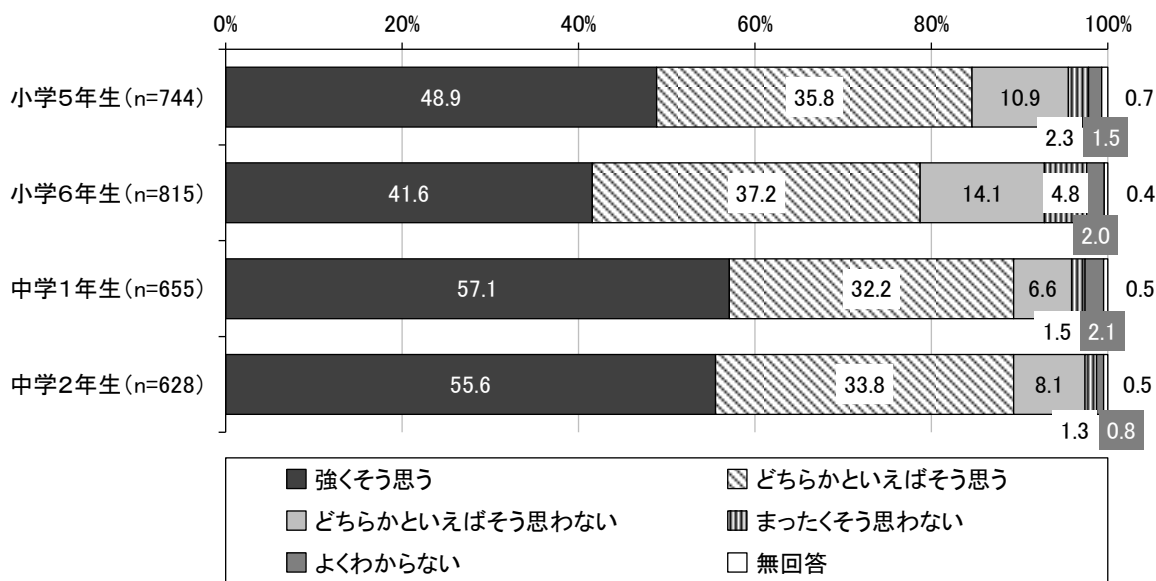
(単数回答)

学校で読書に関する活動が十分にあったかについてみると、全体では「強くそう思う」が 50.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.9%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高くなっていますが、中学生では5割台と小学生と比べて高くなっています。



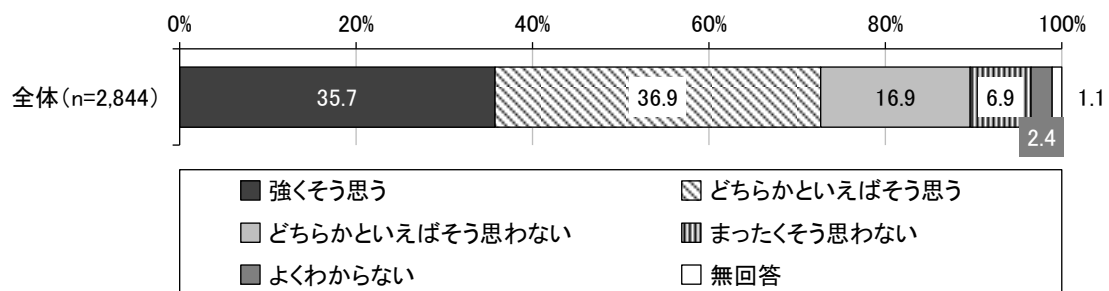
■ 学年別集計



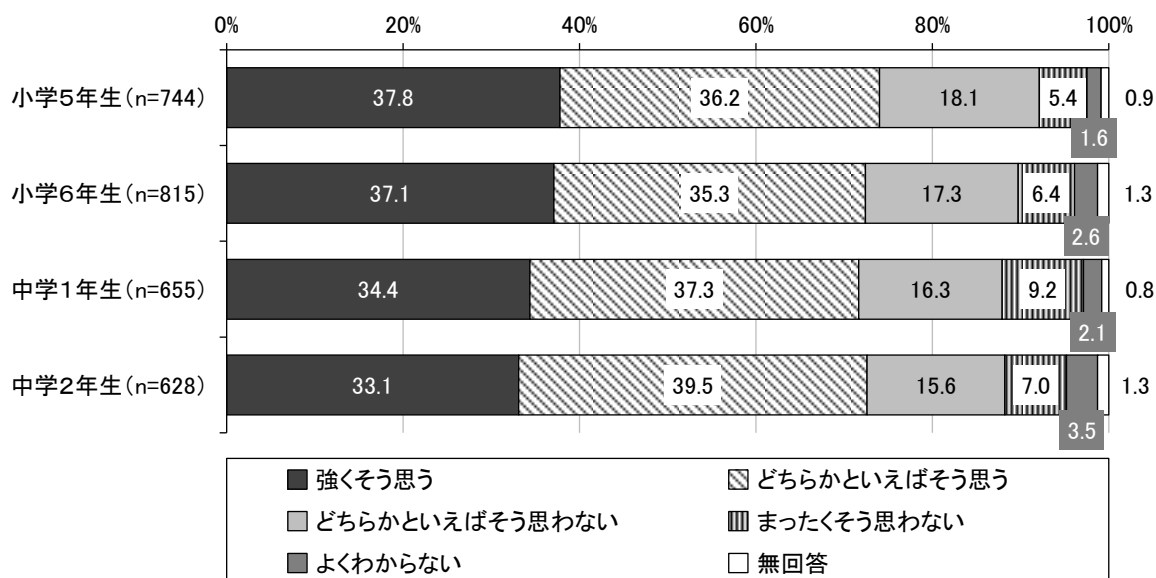
問 11 学校で、外国の言葉や文化を学びたいですか。(単数回答)

学校で外国の言葉や文化を学びたいかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が36.9%と最も高く、次いで「強くそう思う」が35.7%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が2割台となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が7割台となっています。



■ 学年別集計

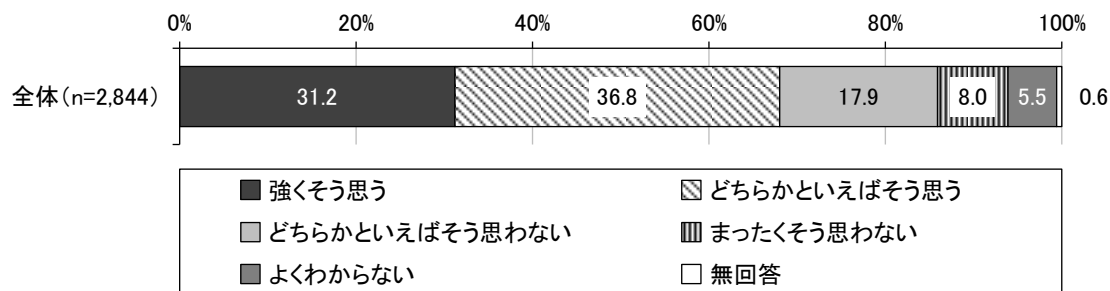


問 12 学校での音楽鑑賞や芸術作品の鑑賞などで、感動したことがありますか。

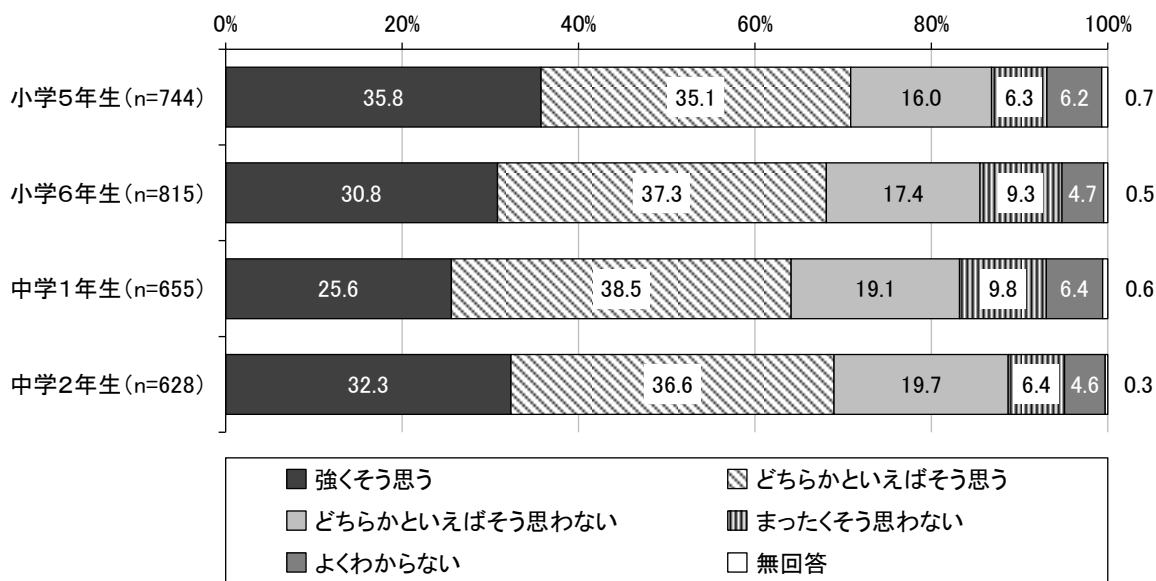
(単数回答)

学校での音楽鑑賞や芸術作品の鑑賞などで感動したことがあるかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が36.8%と最も高く、次いで「強くそう思う」が31.2%となっています。また、『そう思う』が6割台、『そう思わない』が2割台となっています。

学年別にみると、小学5年生では「強くそう思う」、その他の学年では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が6割台～7割台前半となっています。



■ 学年別集計

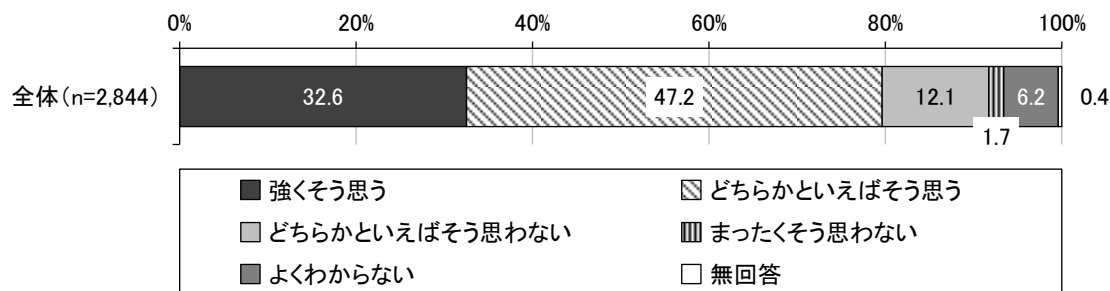


問 13 学校での行事や活動で、これまでと違うやり方を試したり工夫をしましたか。

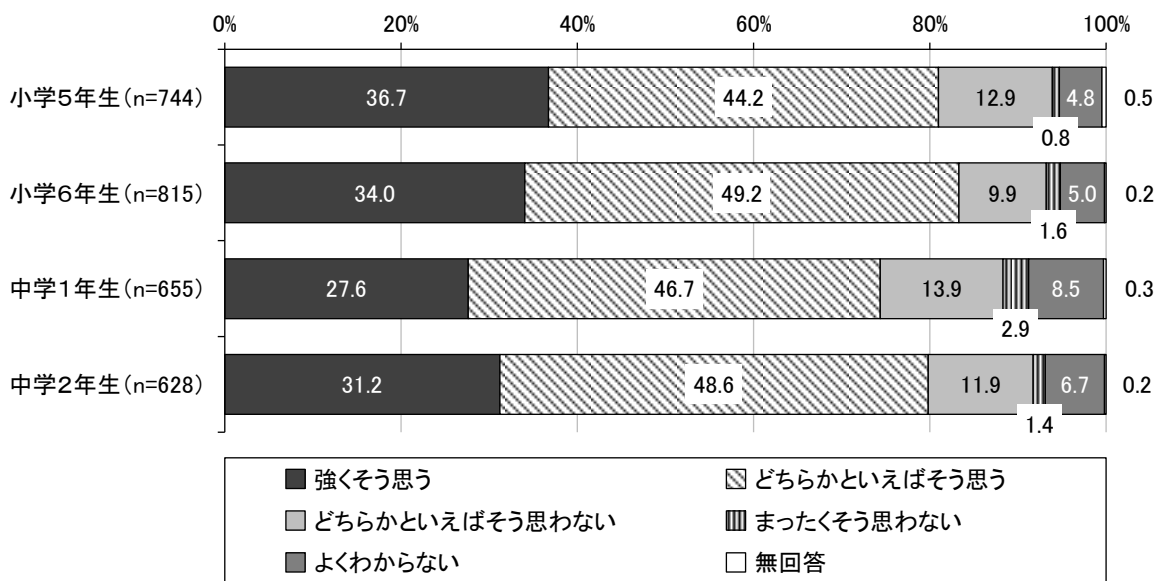
(単数回答)

学校での行事や活動でこれまでと違うやり方を試したり工夫をしたかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が47.2%と最も高く、次いで「強くそう思う」が32.6%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「どちらかといえばそう思う」が最も高く、『そう思う』が7割台～8割台前半となっています。



■ 学年別集計

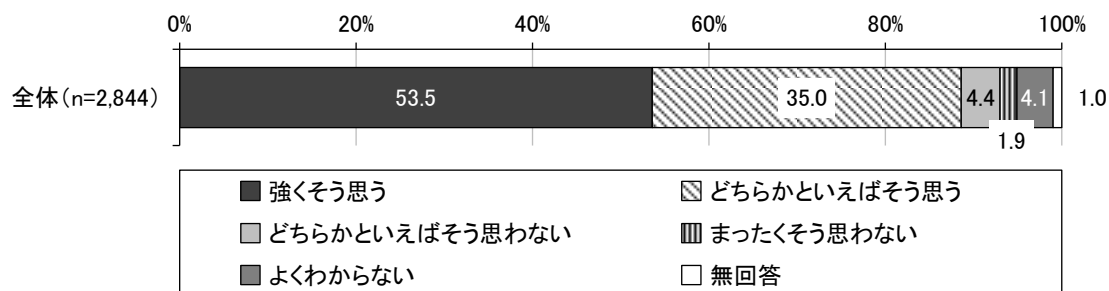


問 14 バリアフリーや障がいについての理解が、入学時よりも深まりましたか。

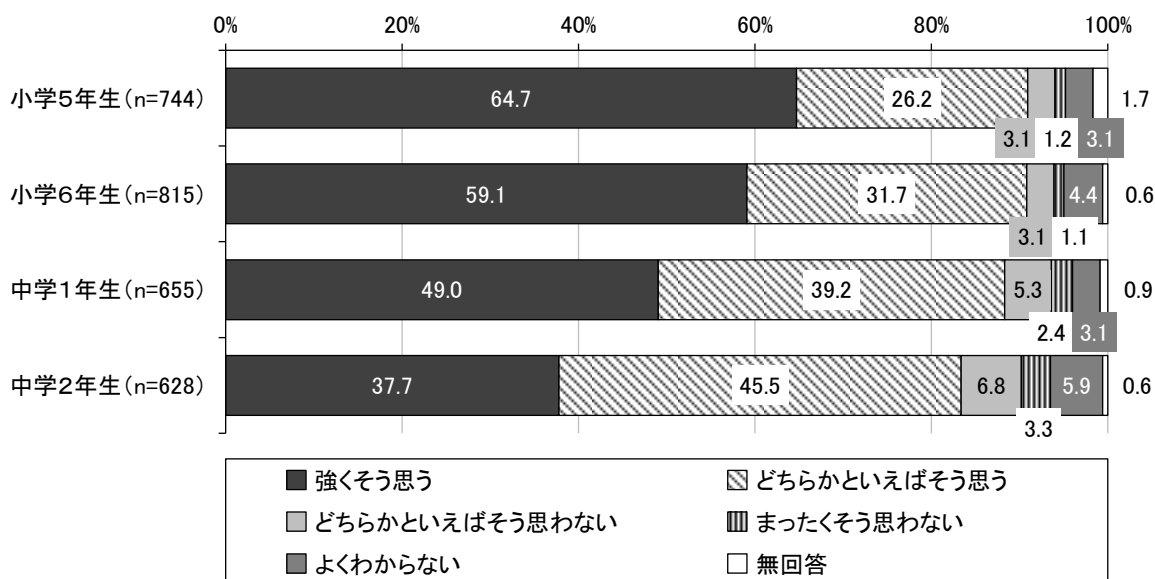
(単数回答)

バリアフリーや障がいについての理解が入学時よりも深まったかについてみると、全体では「強くそう思う」が 53.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.0%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、中学2年生では「どちらかといえばそう思う」、その他の学年では「強くそう思う」が最も高くなっています。また、学年が上がるにつれて「どちらかといえばそう思う」が高く、「強くそう思う」が低くなっています。



■ 学年別集計

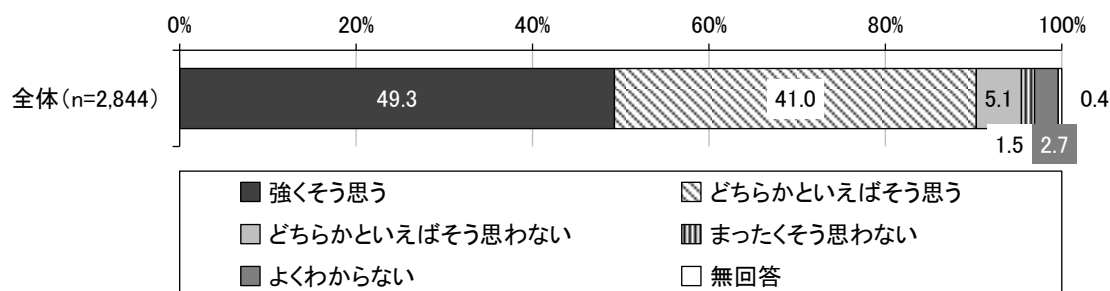


問 15 先生は、授業のめあてや目標を分かりやすく示して教えてくれていますか。

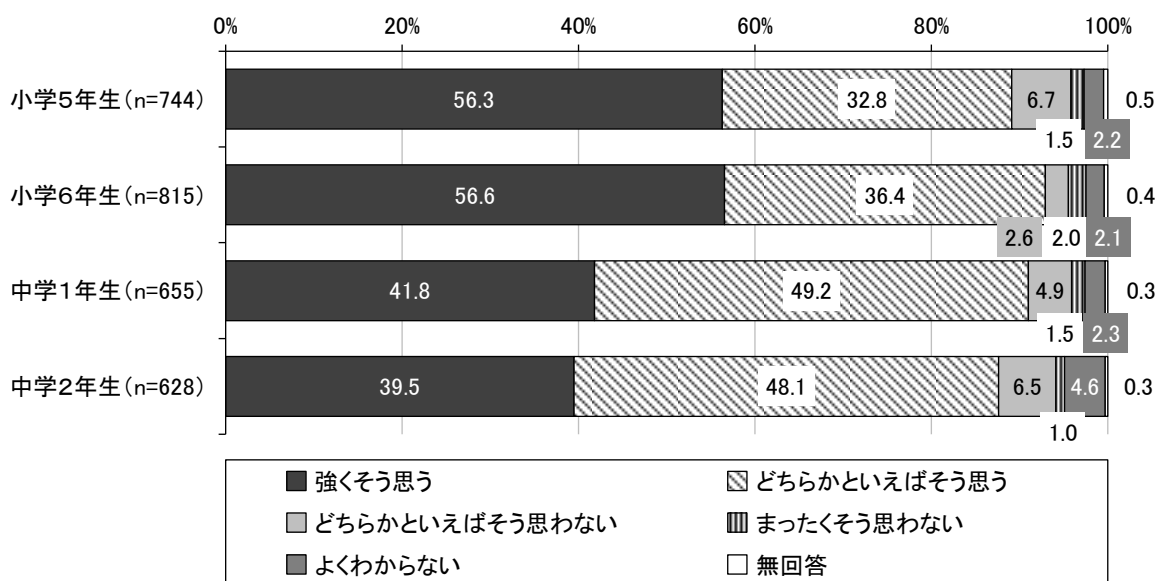
(単数回答)

先生は授業のめあてや目標を分かりやすく示して教えてくれているかについてみると、全体では「強くそう思う」が49.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が41.0%となっています。また、『そう思う』が9割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が8割台後半～9割台前半となっています。



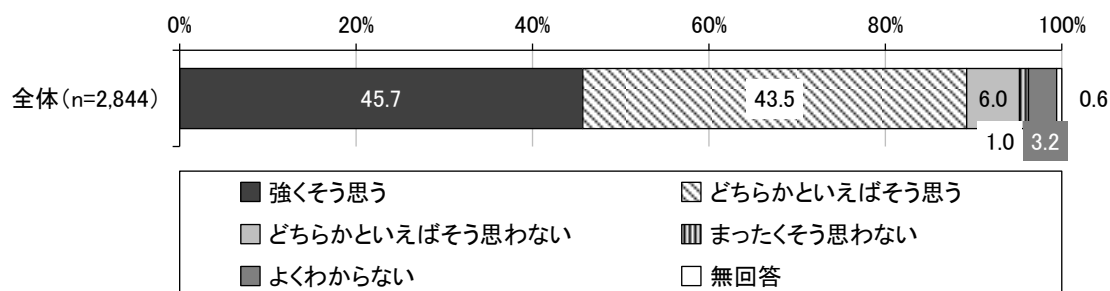
■ 学年別集計



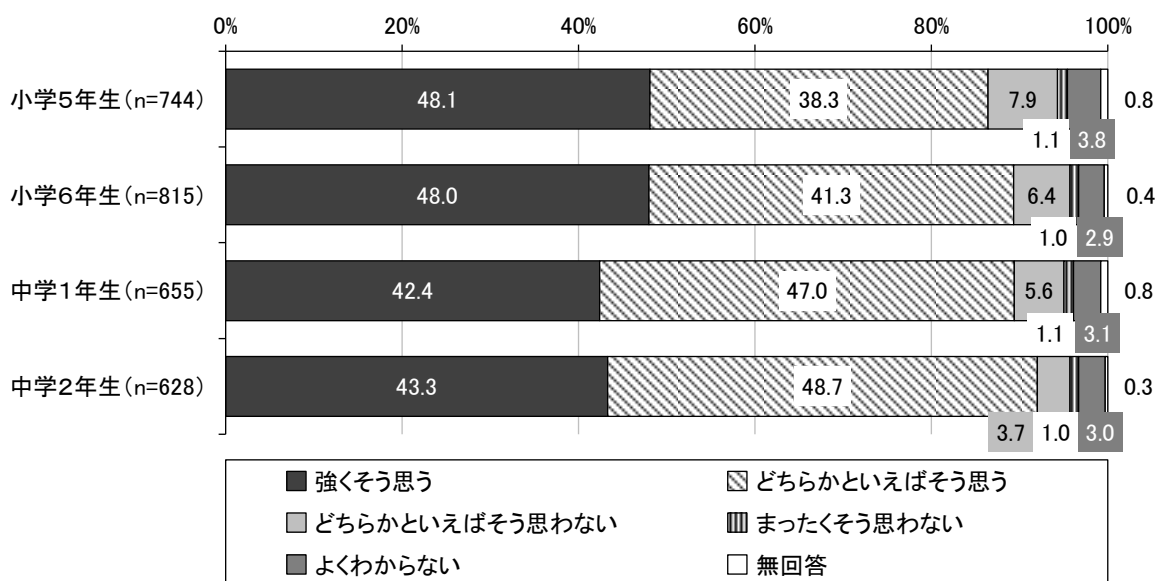
問 16 学校生活の中での課題や問題を解決するために、対話することを大切にしていますか。(単数回答)

学校生活の中での課題や問題を解決するために対話することを大切にしているかについてみると、全体では「強くそう思う」が45.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が43.5%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が8割台後半～9割台前半となっています。



■ 学年別集計

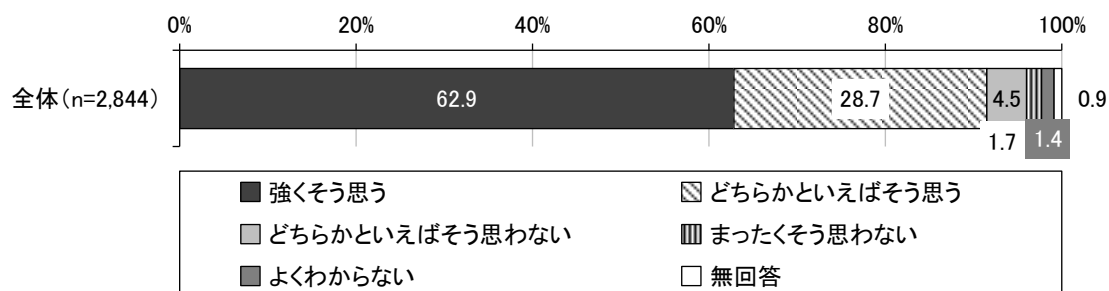


問 17 授業でコンピューターを、学習の道具として様々なことに使えていますか。

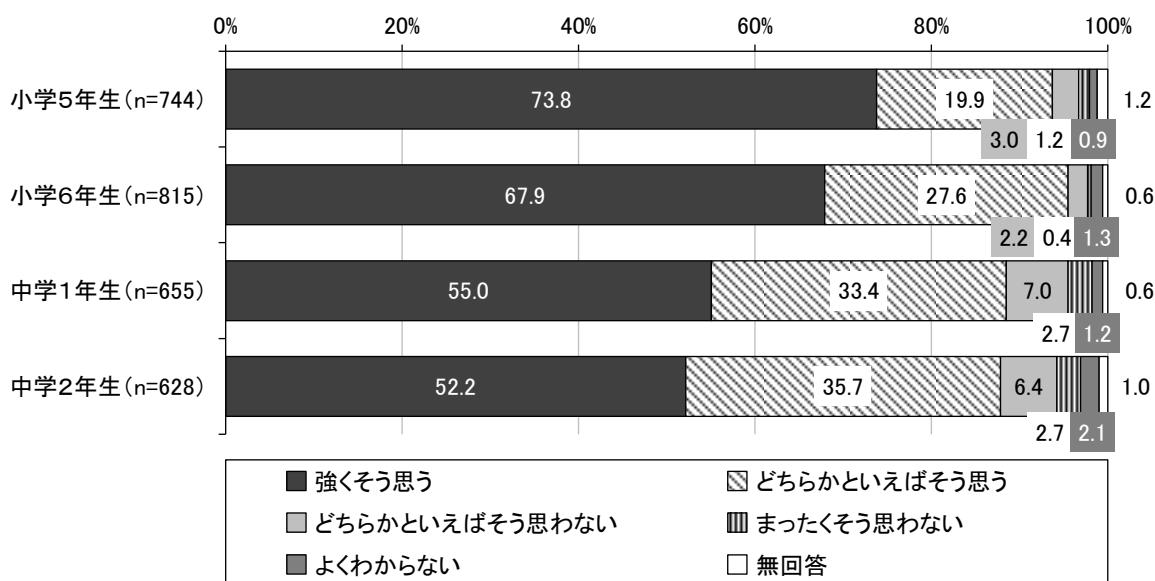
(単数回答)

授業でコンピューターを、学習の道具として様々なことに使えているかについてみると、全体では「強くそう思う」が62.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.7%となっています。また、『そう思う』が9割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高くなっています。また、学年が上がるにつれて「どちらかといえばそう思う」が高く、「強くそう思う」が低くなっています。



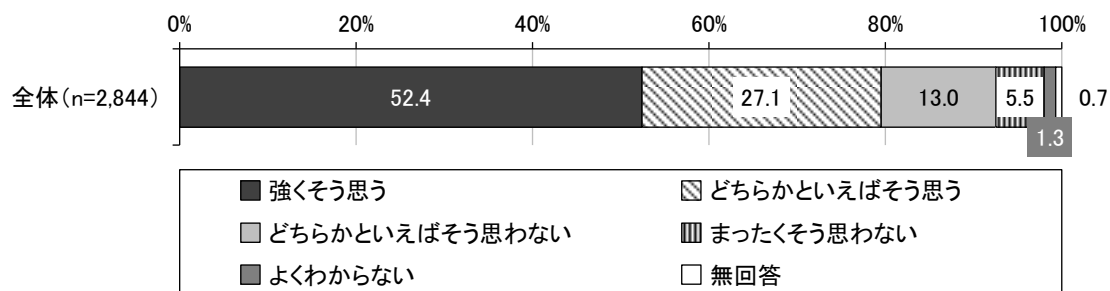
■ 学年別集計



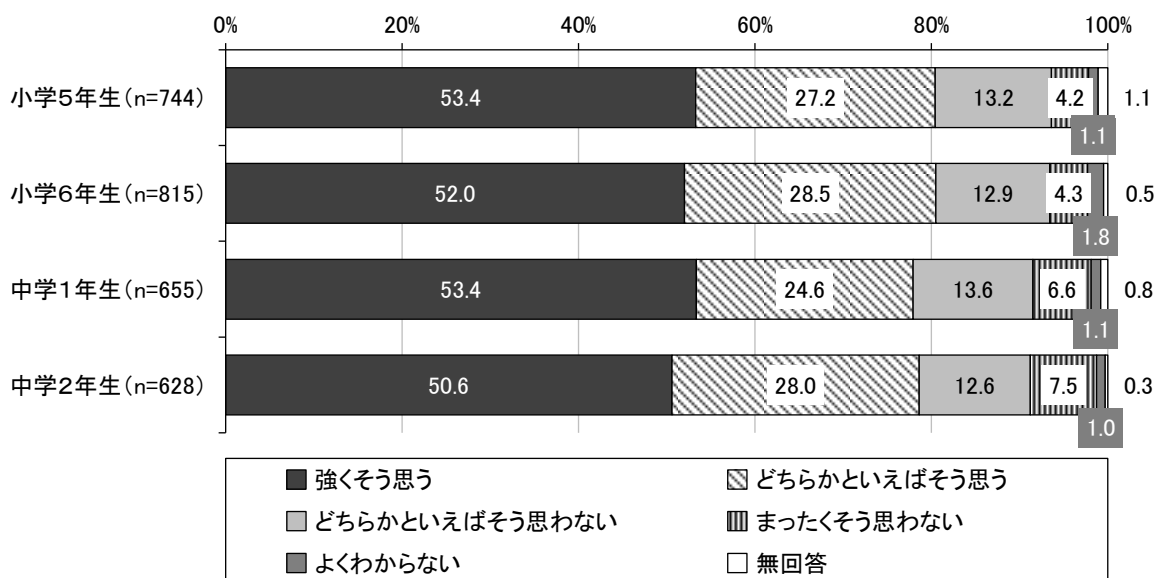
問 18 毎日少しでも運動する習慣を身に付けていますか。(単数回答)

毎日少しでも運動する習慣を身に付けているかについてみると、全体では「強くそう思う」が52.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.1%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高く、『そう思う』が7割台後半～8割台前半となっています。



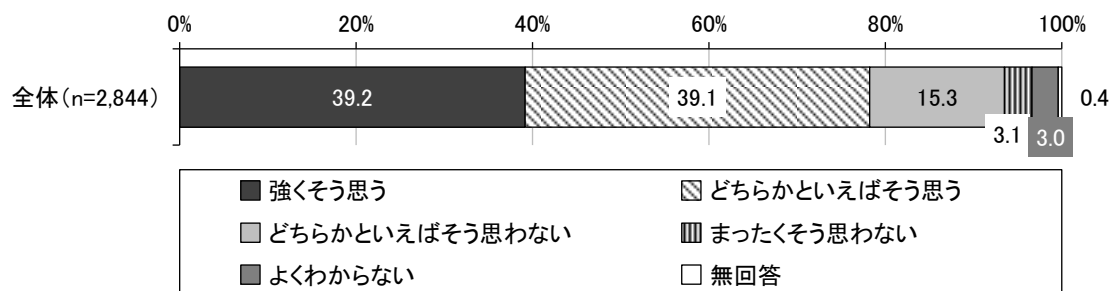
■ 学年別集計



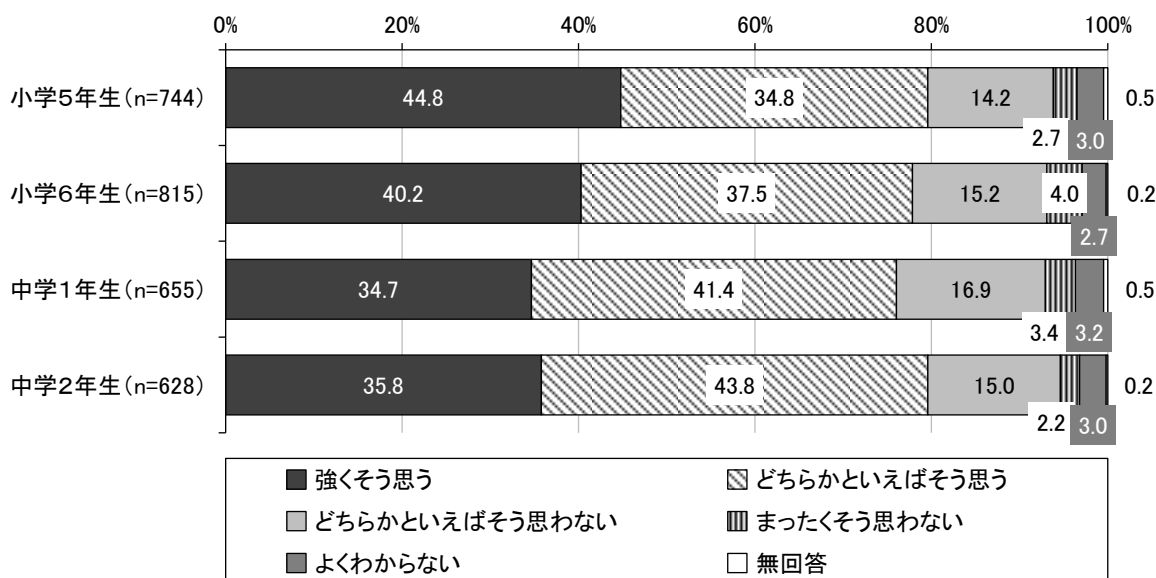
問 19 食材や栄養など、食べることについて学びたいですか。(単数回答)

食材や栄養など食べることについて学びたいかについてみると、全体では「強くそう思う」が39.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が39.1%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が7割台後半となっています。



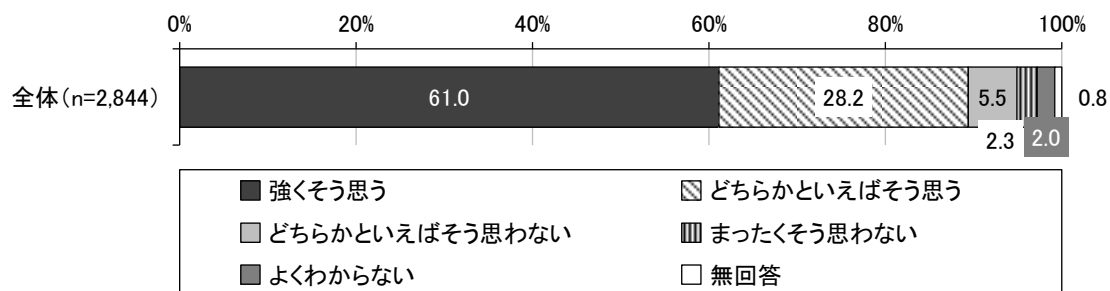
■ 学年別集計



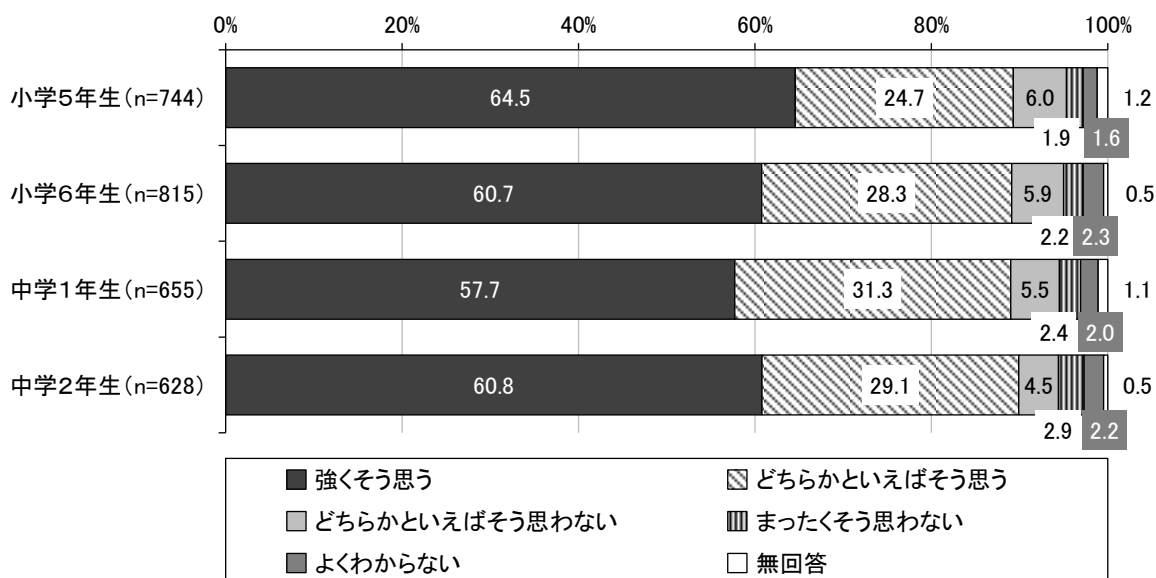
問 20 毎日の給食を楽しみにしていますか。(単数回答)

毎日の給食を楽しみにしているかについてみると、全体では「強くそう思う」が 61.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.2%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高く、『そう思う』が8割台後半となっています。



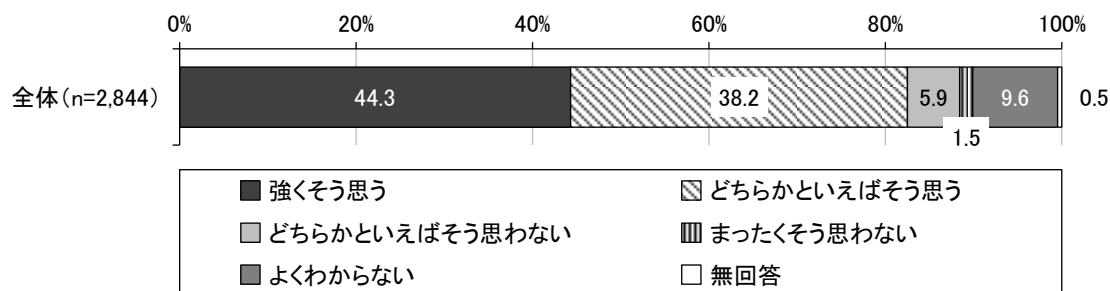
■ 学年別集計



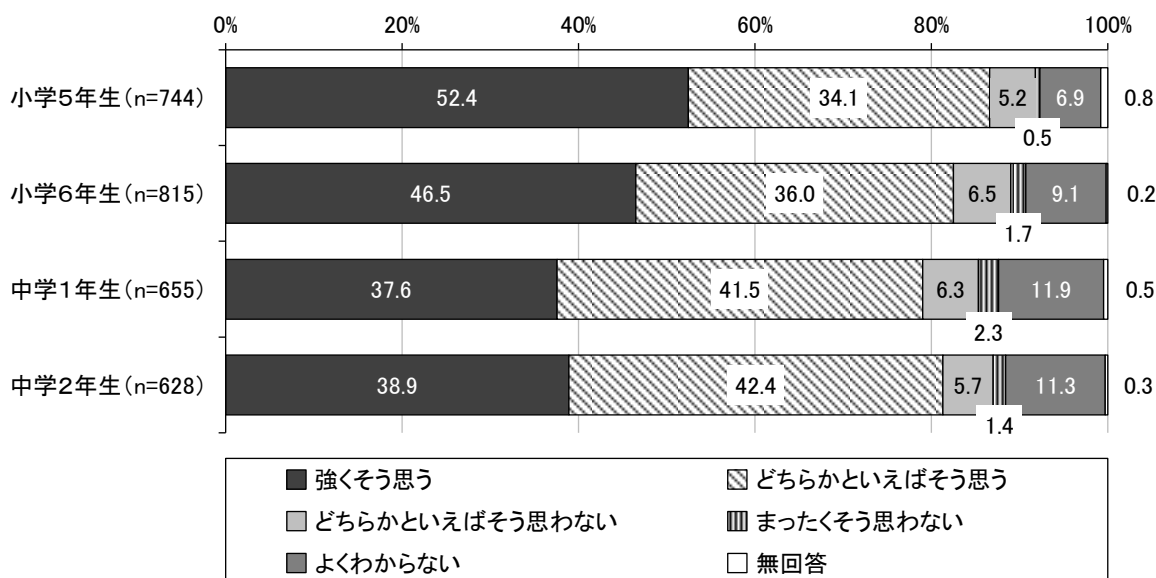
問 21 学校の活動に、地域の人たちが協力してくれていますか。(単数回答)

学校の活動に地域の人たちが協力してくれているかについてみると、全体では「強くそう思う」が44.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が38.2%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が7割台後半～8割台となっています。



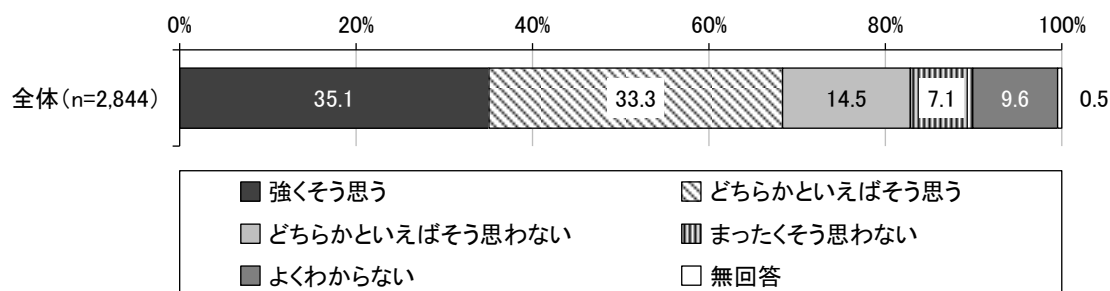
■ 学年別集計



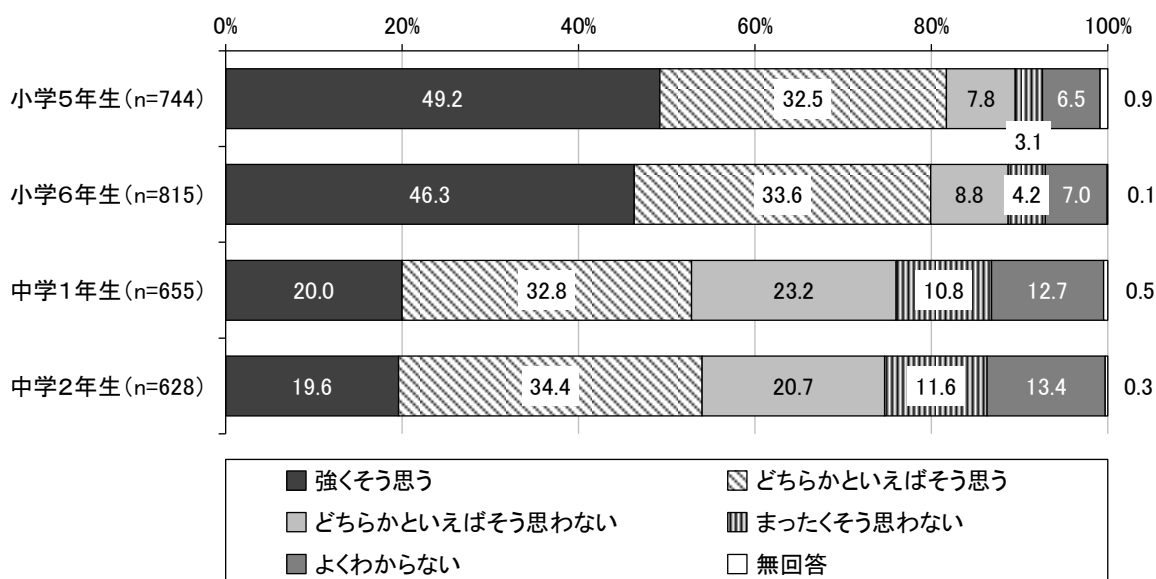
問 22 登下校時に、地域の人たちが見守ってくれていますか。(単数回答)

登下校時に地域の人たちが見守ってくれているかについてみると、全体では「強くそう思う」が35.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.3%となっています。また、『そう思う』が6割台、『そう思わない』が2割台となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、『そう思う』は小学生では7割台後半～8割台前半、中学生では5割台となっています。



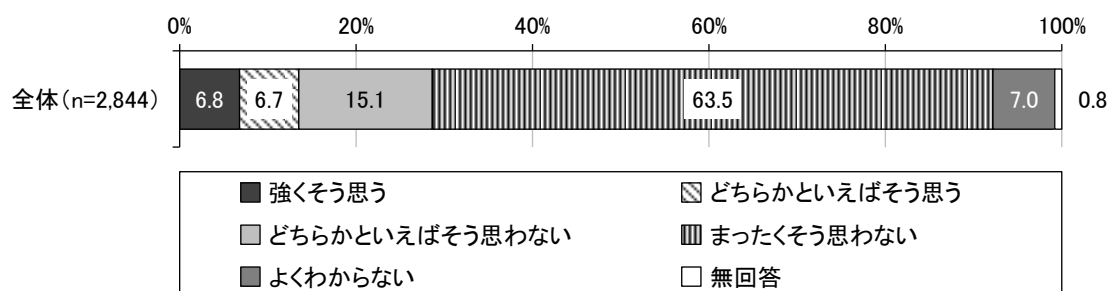
■ 学年別集計



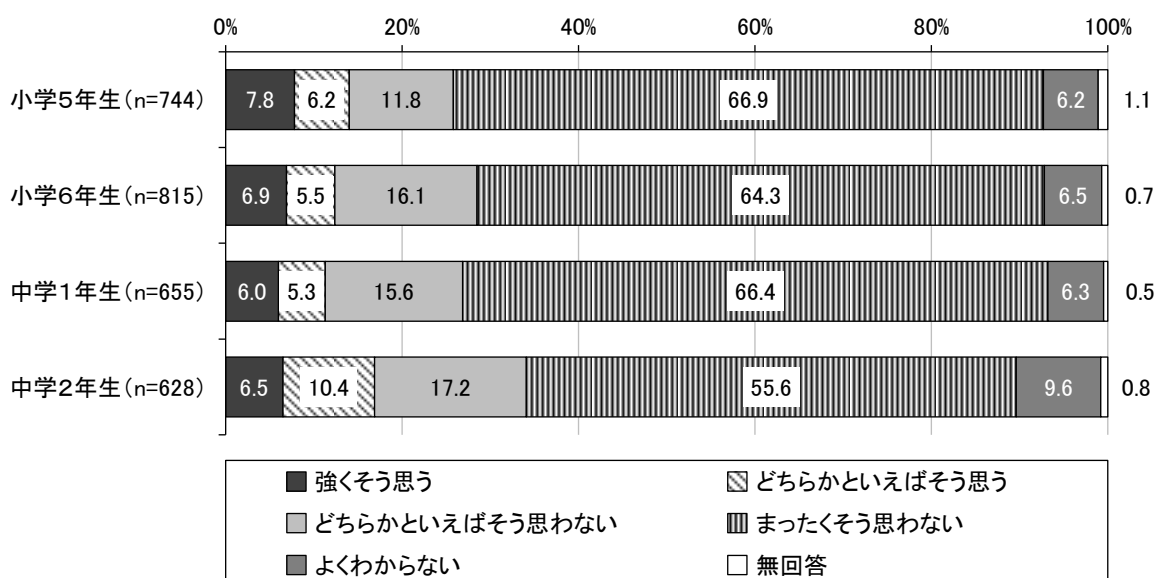
問 23 放課後に安心して過ごす場所が無くて困ることがありますか。(単数回答)

放課後に安心して過ごす場所が無くて困ることがあるかについてみると、全体では「まったくそう思わない」が63.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が15.1%となっています。また、『そう思う』が1割台、『そう思わない』が7割台となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「まったくそう思わない」が最も高くなっていますが、中学2年生では5割台半ばとその他の学年と比べて低くなっています。



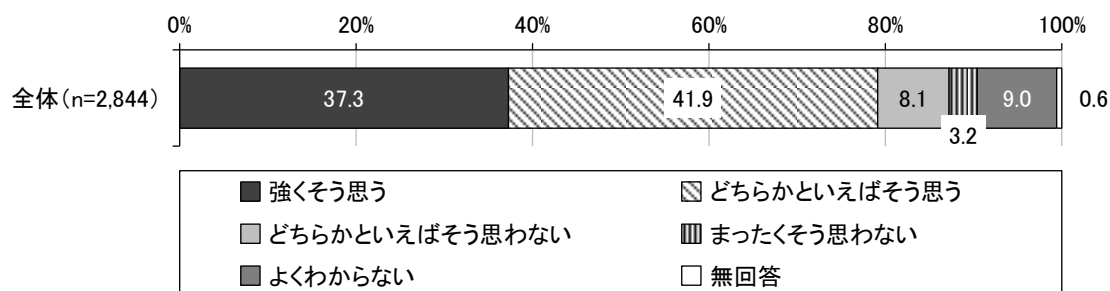
■ 学年別集計



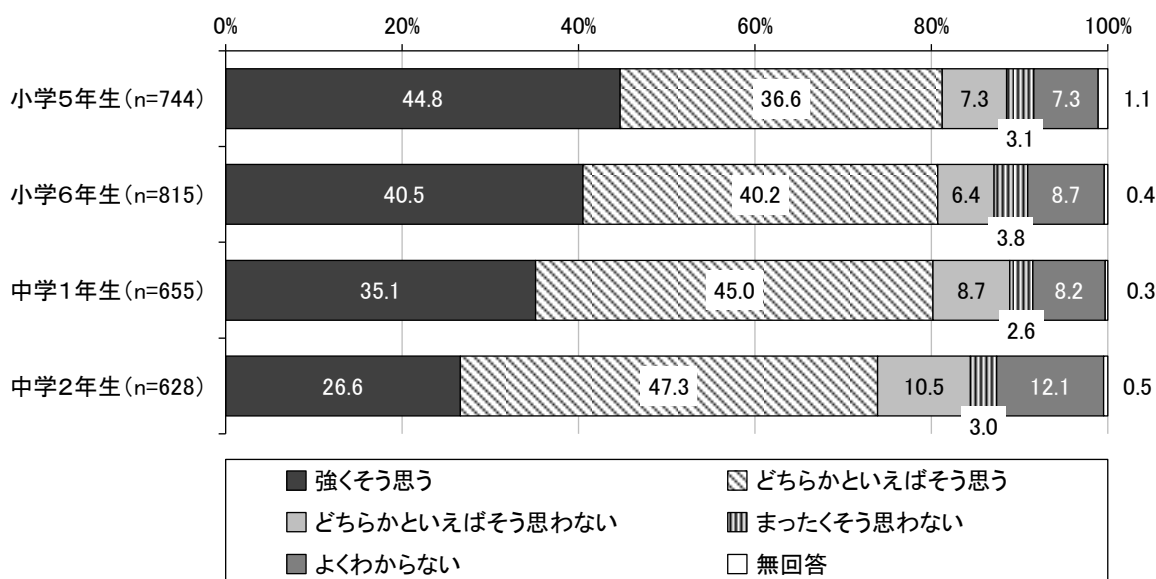
問 24 先生は自分たちに向き合う時間を十分にとってくれていますか。(単数回答)

先生は自分たちに向き合う時間を十分にとってくれているかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が41.9%と最も高く、次いで「強くそう思う」が37.3%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、小学生では「強くそう思う」、中学生では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、学年が上がるにつれて「どちらかといえばそう思う」が高く、「強くそう思う」が低くなっています。



■ 学年別集計

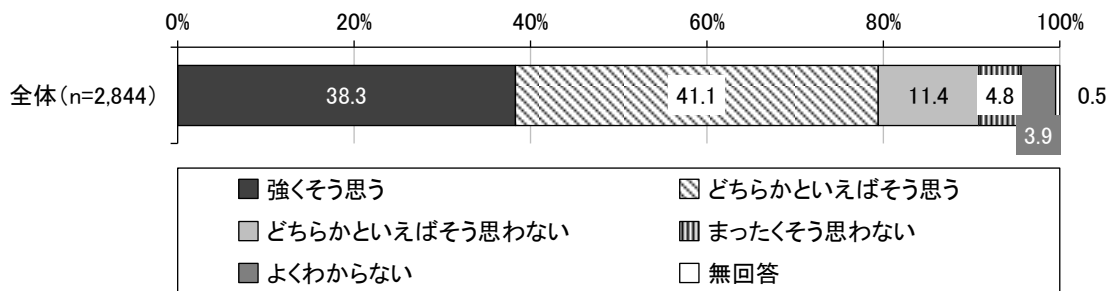


3 主観的幸福について

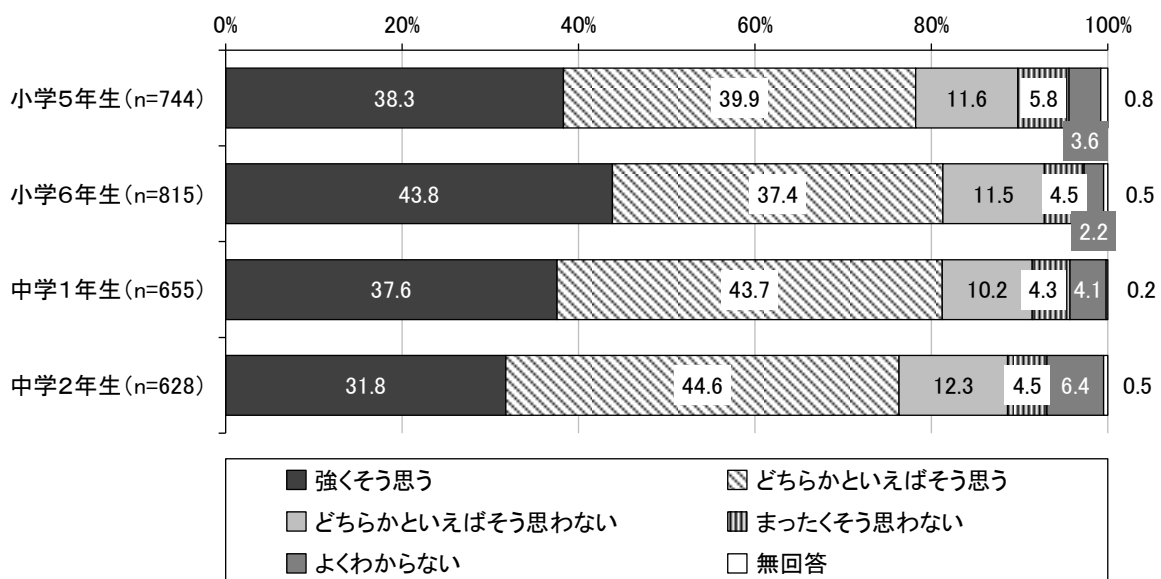
問 25 学校に通うのが楽しいですか。(単数回答)

学校に通うのが楽しいかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が 41.1%と最も高く、次いで「強くそう思う」が 38.3%となっています。また、『そう思う』が7割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、小学6年生では「強くそう思う」、その他の学年では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が7割台後半～8割台前半となっています。



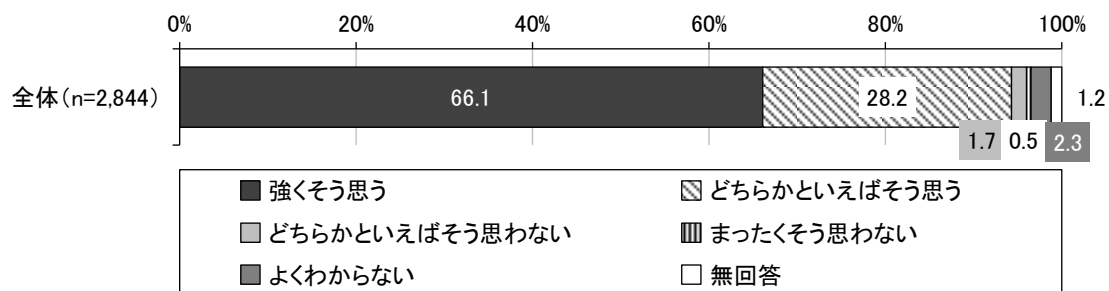
■ 学年別集計



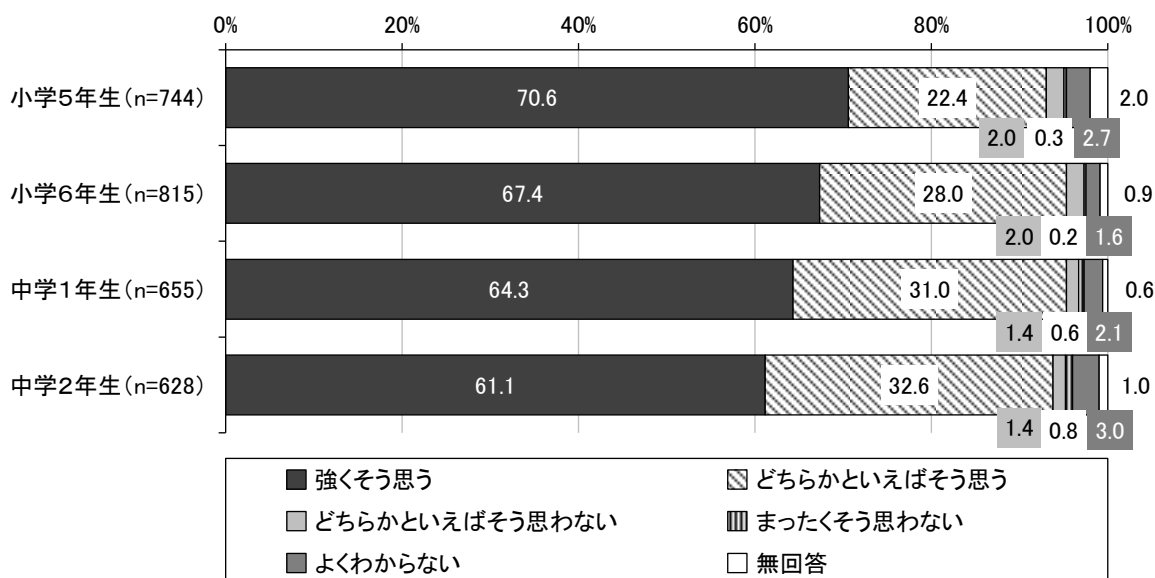
問 26 自分や周りの人たちを大切に思いますか。(単数回答)

自分や周りの人たちを大切に思うかについてみると、全体では「強くそう思う」が 66.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.2%となっています。また、『そう思う』が9割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高くなっていますが、学年が上がるにつれてその割合は低くなっています。



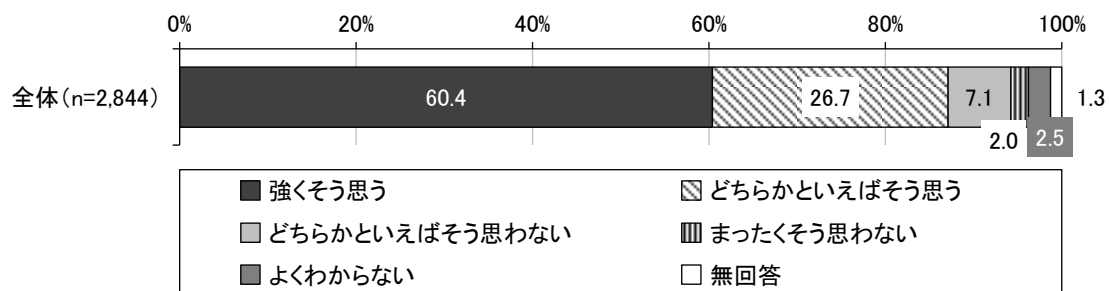
■ 学年別集計



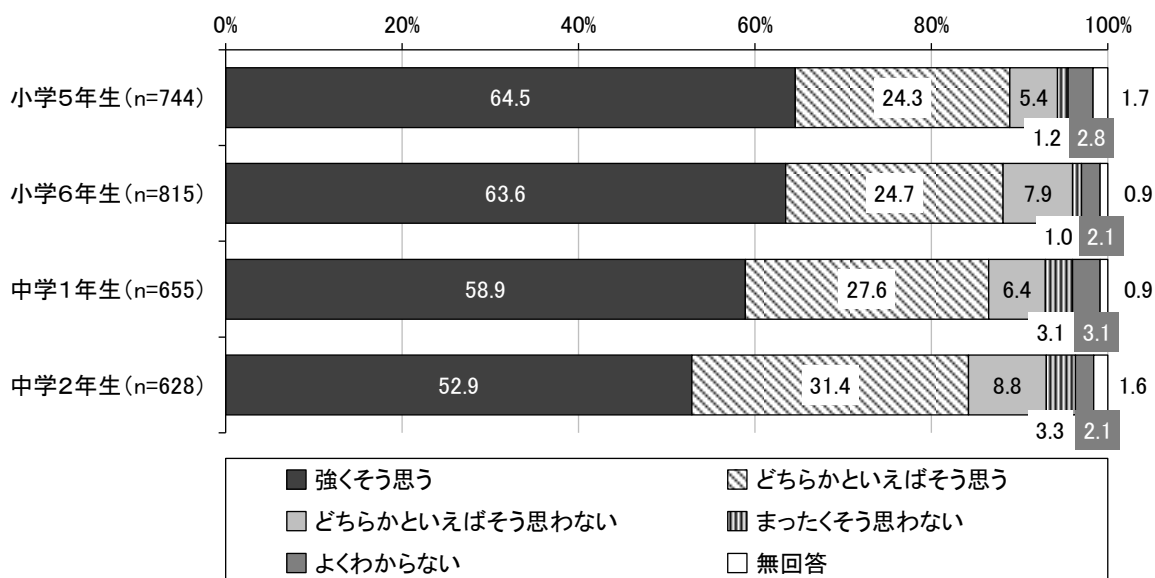
問 27 今、毎日続けてがんばっているものがありますか。(単数回答)

今毎日続けてがんばっているものがあるかについてみると、全体では「強くそう思う」が 60.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.7%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割未満となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「強くそう思う」が最も高くなっていますが、中学2年生では5割台前半とその他の学年と比べて低くなっています。



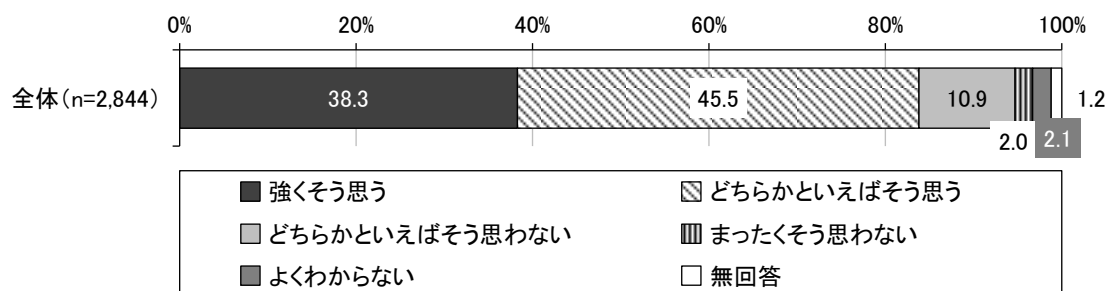
■ 学年別集計



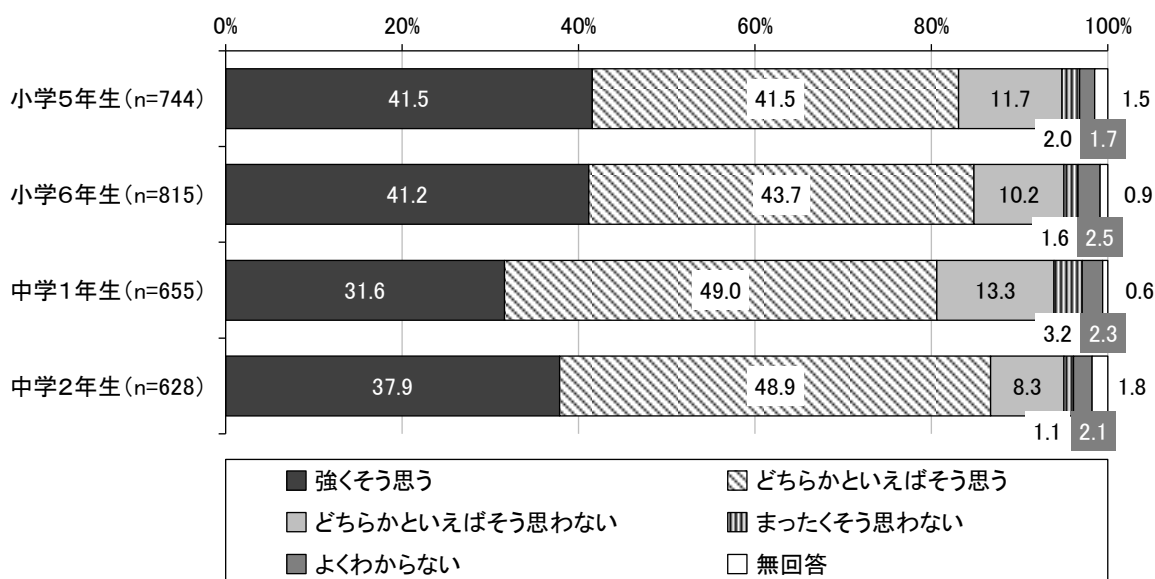
問 28 わからないことがあれば、進んで調べようと思いますか。(単数回答)

わからないことがあれば進んで調べようとするかについてみると、全体では「どちらかといえばそう思う」が 45.5%と最も高く、次いで「強くそう思う」が 38.3%となっています。また、『そう思う』が8割台、『そう思わない』が1割台となっています。

学年別にみると、小学5年生では「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」、その他の学年では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、いずれの学年も『そう思う』が8割台となっています。



■ 学年別集計

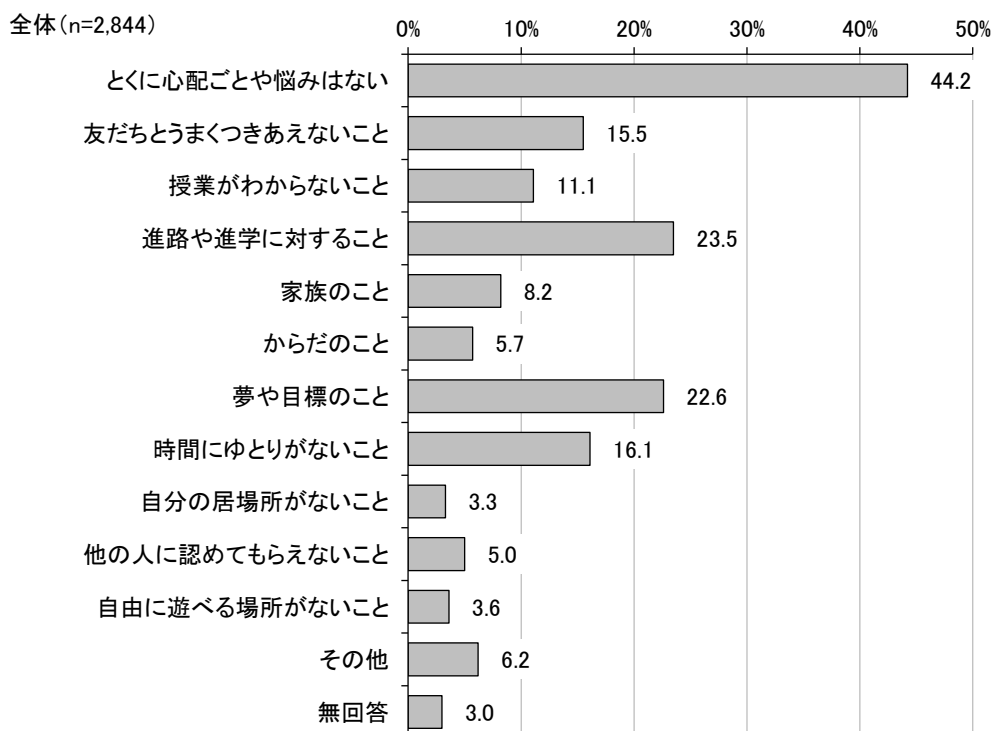


4 悩み・相談について

問 29 今感じている心配ごとや悩みは次のうちどれですか。(複数回答)

今感じている心配ごとや悩みについてみると、全体では「とくに心配ごとや悩みはない」が 44.2% と最も高く、次いで「進路や進学に対すること」が 23.5% となっています。

学年別にみると、中学2年生では「進路や進学に対すること」、その他の学年では「とくに心配ごとや悩みはない」が最も高くなっています。また、中学2年生では「夢や目標のこと」が他の学年と比べて高くなっています。



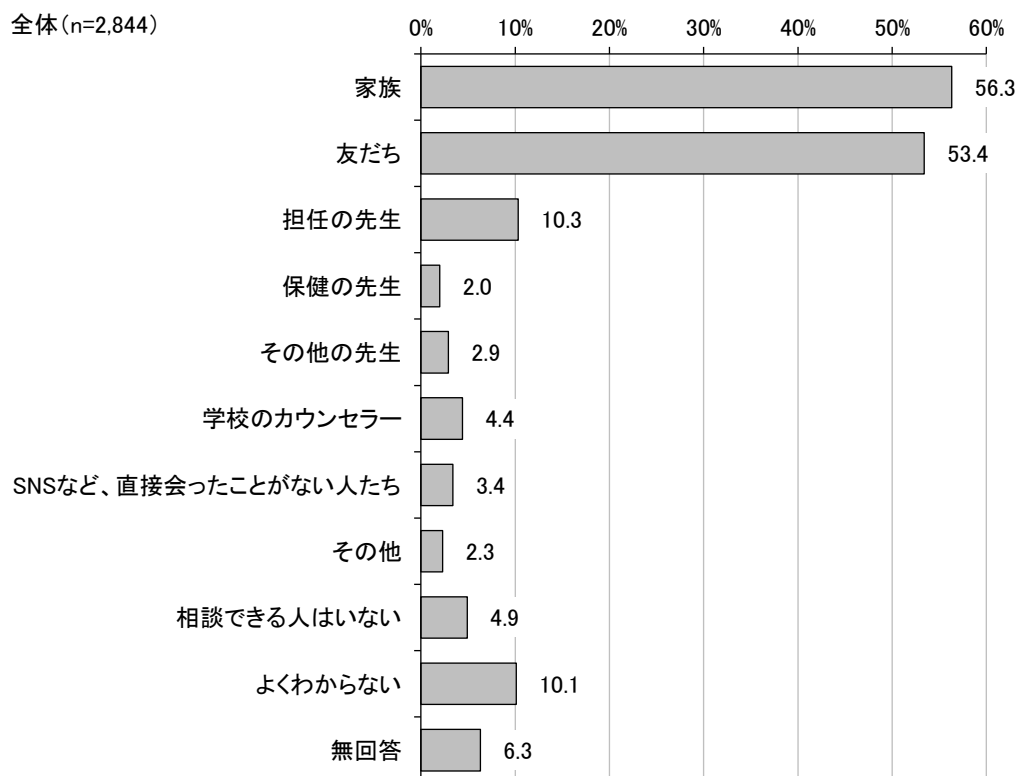
■ 学年別集計

単位: %		とくに心配ごとや悩みはない	友だちとうまくつきあえないこと	授業がわからないこと	進路や進学に対すること	家族のこと	からだのこと	夢や目標のこと	時間にゆとりがないこと	自分の居場所がないこと	他の人に認めてもらえないこと	自由に遊べる場所がないこと	その他	無回答
全体 (n=2,844)		44.2	15.5	11.1	23.5	8.2	5.7	22.6	16.1	3.3	5.0	3.6	6.2	3.0
学年	小学5年生 (n=744)	42.5	19.9	10.5	17.6	8.3	8.7	21.6	15.3	4.2	5.4	3.5	7.7	3.6
	小学6年生 (n=815)	50.7	14.2	6.5	14.6	8.2	4.3	21.5	10.1	2.0	4.2	3.8	6.6	3.7
	中学1年生 (n=655)	45.2	15.1	15.9	21.4	9.5	4.3	19.7	19.2	3.2	5.0	3.1	5.2	2.3
	中学2年生 (n=628)	36.9	12.3	12.9	44.3	6.8	5.3	28.3	21.7	4.0	5.7	4.1	5.1	2.1

問 30 心配ごとや悩みを、誰に相談することが多いですか。(複数回答)

心配ごとや悩みの相談相手についてみると、全体では「家族」が 56.3%と最も高く、次いで「友だち」が 53.4%となっています。

学年別にみると、小学生では「家族」、中学生では「友だち」が最も高くなっています。



■ 学年別集計

単位: %		家族	友だち	担任の先生	保健の先生	その他の先生	学校のカウンセラー	SNSなど、直接会ったことがない人たち	その他	相談できる人はいない	よくわからない	無回答
全体 (n=2,844)		56.3	53.4	10.3	2.0	2.9	4.4	3.4	2.3	4.9	10.1	6.3
学年	小学5年生 (n=744)	59.7	47.7	10.9	2.0	1.3	6.7	1.7	2.7	6.2	8.9	7.3
	小学6年生 (n=815)	57.8	51.9	14.1	2.5	3.3	5.2	2.8	2.0	3.4	9.2	8.7
	中学1年生 (n=655)	53.9	59.5	9.0	1.8	4.0	2.7	5.6	3.2	4.1	10.4	3.8
	中学2年生 (n=628)	52.7	56.1	5.9	1.6	3.2	2.4	4.0	1.1	5.9	12.6	4.6

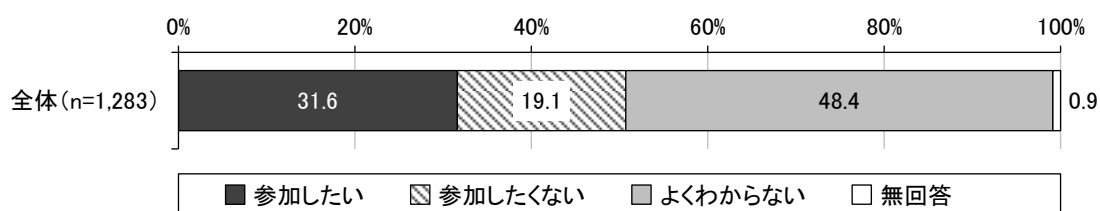
5 部活動について

中学生のみ

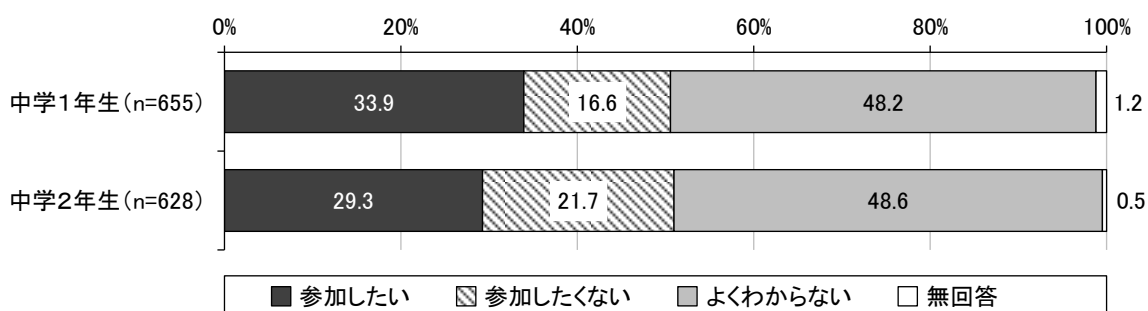
問 31 今後、休日の部活動は地域の活動に移行していきませんが、部活動の地域移行について、どのように思いますか。(単数回答)

部活動の地域移行についてどう思うかについてみると、全体では「よくわからない」が 48.4%と最も高く、次いで「参加したい」が 31.6%となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「よくわからない」が最も高くなっています。また、中学2年生では中学1年生と比べて「参加したくない」が高くなっています。



■ 学年別集計

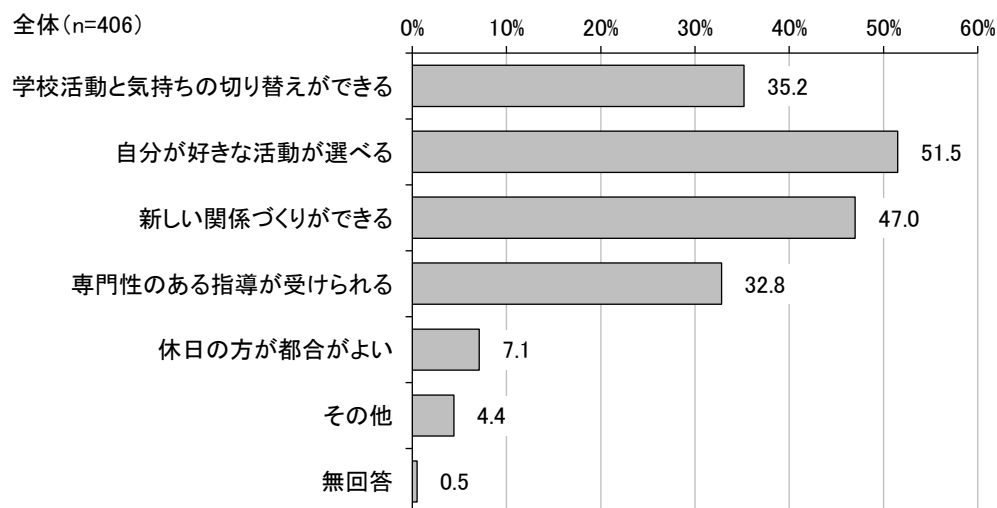


問 31 で「参加したい」を選んだ方のみ

問 32 参加したい理由は何ですか。(複数回答)

参加したい理由についてみると、全体では「自分が好きな活動が選べる」が 51.5%と最も高く、次いで「新しい関係づくりができる」が 47.0%となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「自分が好きな活動が選べる」が最も高くなっています。また、中学 2 年生では中学 1 年生と比べて「自分が好きな活動が選べる」が高く、「学校活動と気持ちの切り替えができる」が低くなっています。



■ 学年別集計

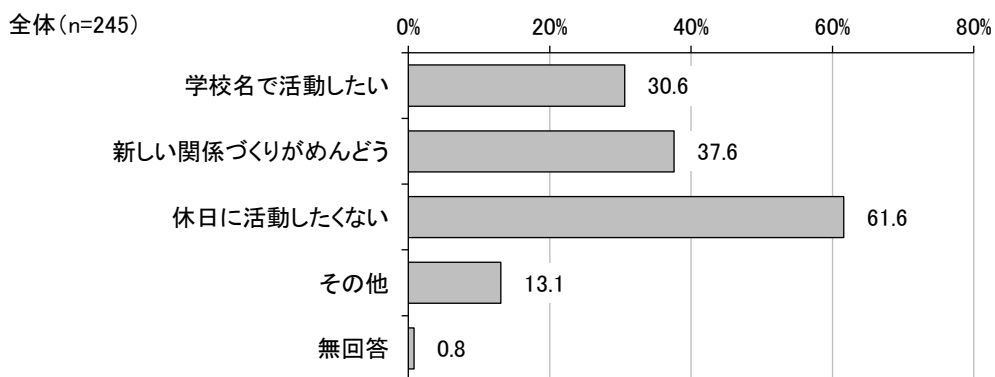
単位: %		学校活動と気持ちの切り替えができる	自分が好きな活動が選べる	新しい関係づくりができる	専門性のある指導が受けられる	休日の方が都合がよい	その他	無回答
全体 (n=406)		35.2	51.5	47.0	32.8	7.1	4.4	0.5
学年	中学1年生 (n=222)	39.2	47.7	46.4	32.0	7.7	3.6	0.9
	中学2年生 (n=184)	30.4	56.0	47.8	33.7	6.5	5.4	0.0

問 31 で「参加したくない」を選んだ方のみ

問 33 参加したくない理由は何ですか。(複数回答)

参加したくない理由についてみると、全体では「休日に活動したくない」が 61.6%と最も高く、次いで「新しい関係づくりがめんどろ」が 37.6%となっています。

学年別にみると、いずれの学年も「休日に活動したくない」が最も高く、中学2年生では中学1年生と比べてその割合が高くなっています。



■ 学年別集計

単位: %		学校名で活動したい	新しい関係づくりがめんどろ	休日に活動したくない	その他	無回答
全体 (n=245)		30.6	37.6	61.6	13.1	0.8
学年	中学1年生 (n=109)	31.2	35.8	56.9	15.6	0.9
	中学2年生 (n=136)	30.1	39.0	65.4	11.0	0.7

6 自由記述

問 34 その他、学校生活や学びについて、何か意見があれば、自由にご記入ください。

(自由記述)

カテゴリ別 一覧

自由記述意見の内容をカテゴリ毎に分類した件数となります。件数は、1人の回答に複数のカテゴリが含まれる場合があることから、延べ件数となります。

(単位:件)

カテゴリ	件数
授業について	68
学校生活について	55
学校設備について	36
部活動・クラブ活動について	34
教師・先生について	29
パソコン・クロームブックについて	21
いじめ問題について	15
友人関係について	13
休み時間について	10
給食について	10
進路について	5
その他	77

自由意見(抜粋)

個人情報に関するもの、個人等が特定しやすいもの及び誹謗中傷が含まれる内容は、掲載していません。

個別具体的な事象への内容は、掲載していません。

重複及び類似する内容は、掲載していません。

○授業について

内 容
体育の時間がいっぱいほしい。
研究授業をなくしてほしい
ICTを使った授業をたくさんしたい。
先生が自分にあまく相手に厳しい。
学校の授業で、わからなくても、他のみんなが先に答えを言うってしまうので、教えてもらえる機会が少ない。
授業がとてもわかりやすく勉強がやる気も出る。

内 容
もっと校外学習を増やしてほしい。
もっと先生とだけじゃなくて、グループで分かれて何かについて対話したりする授業があってもいいと思う。
六年生の体育の時間を増やしてほしい。
もっと学校同士で学んだり行事などがあるととても楽しい。知りたいことをたくさん知れて、授業の内容もよく分かるのでとても良い経験になる。子どもが先生になって、みんなに教える感じの学びがあったらもっと良い経験になると思う。
もっと勉強を楽しくやりたい。
自習時間っていうのを作って、その時間に自分の夢のことについて調べたりする時間がほしい。
図書や体育などの副教科の時間を増やしてほしい。
塾に通っている人も多いから宿題を減らしてほしい。
社会科見学などの楽しみを増やしてほしい。
授業では、先生の説明が分かりやすく授業のめあて通りに学べていい。
社会科見学などのお楽しみを増やしてほしい。4時間授業とかを増やしてほしい。
授業でわからないところがあっても、授業中に聞くのが苦手だから家で親に聞くようにしている。
学校生活では、もっとたくさん、いじめなどの人権や人の心について、学ぶ機会がほしい。また、インターネットの危険性についても、学ぶ機会がほしい。(実際の経験者の話や、アニメ、ドラマなどがわかりやすい。)
学びをするときは、具体的な説明があればよいと思う。
学校生活や学びについて、学校で授業に参加している人と参加していない人の差がある。
クラスに居場所がない。ボッチ弁などになることが数年前より増えて、学校生活がうまくいってない。
月に一回程度で、先生抜きで生徒だけで学びを深める場がほしい。
校舎の建て替えがある期間中で、学校行事などを無くす、制限をすることをできる限りしないでほしい。
水泳の授業を増やしてほしい。
もう少し実技教科の時間にゆとりがほしいです。
副教科として、プログラミングの授業を入れてほしい。
時間割の5教科だけの日があったり、ほぼ実技教科だけの日があったりするからバランスよくしてほしい。
体育のときのジャージで、学期や月ごとに指定をなくしてほしい。自分で秋でも寒いときは長ズボン着るなど調節をしたい。
眠くなる授業と眠くならない授業の差が激しい。
英語も数学みたいにクラス分けしてほしい。
自習の時間を増やしてほしい。
学校で政治をやるけど昔のことばかりで結局は歴史みたいなものだから今の政治の学習をしたいです。(税金制度など)
社会科見学など行事が学校によって格差があるので、格差をなくしてほしい。

内 容
社会の先生がカフートをしてくれるように、学びに遊びを入れてほしいと思った。
もうすぐ中学生なので、中学校の学びについて知りたいと思った。
もうすこしパソコンを使う授業を増やしたら良いと思う。
授業の単元の速度がはやく、もっと考える時間がほしい。
調べ学習や感想文、学級活動や班活動など、自由でありながら、考える力や楽しませる力を伸ばす主体的な学習の仕方がすごく充実していて、最近の授業が、とても楽しく感じていて、とてもやりがいを感じている。
授業で分からない事がある。
英語が難しすぎる
授業を教科書に書いてあることだけじゃなくて、もう少し面白くしてほしい。
英語でネイティブの先生と交流する機会を増やしてほしい。
授業が早すぎることもあるのでもう少しゆっくりしてほしいところがある。
テストのための勉強だけで社会に放り出されたくはない。情報や法律、金融などこれから生きていくうえで知るべきことを知る時間を一回だけのワークショップなどで終わらせず、継続して取り組みたい。英語も話す時間が欲しく、国際的な視野を広げたい。
道徳の時間のときや普通の授業のときに色々な人の意見をたくさん聞きたいと思うので、班や、自由に教室の中を歩き回ったりして、男女関係なく意見を交換したい。
スクールカウンセラーに相談するところがあるが、気軽に行きづらいと思う子も一人や二人はいると思うので誰にも言えない悩みとかがあったら簡単に言えるように、2ヶ月に1回か学期ごとに1回はスクールカウンセラーのところに全員が行って話をしたりできるようにしてほしいと思う。
授業があまり面白くないものが多い。教科書などと内容が関連されていないことがあって定期テストの勉強が難しいことがある。
もっと、将来、直接使えるような知識(例えば税の仕組み、税金がどう使われているのか)を学校で教えてほしい。
校外学習など、学校の外で学べる機会が多く、とてもいい経験になっている。
授業でわからないことがあったときに質問できる雰囲気じゃないから質問できる時間がほしいなと思う。
授業内での班活動・グループ活動・ペア活動をもう少し工夫して行ってほしい 自分の意見を持って発表し合うことにとっても意味があると思うが、自分の話したことのない人や関わりが薄い人と話すことは少し困難に思えて、先生方の決めた班・グループ・ペアだと、なかなか話しくらく、考えもまとまらず、深まらず、何も学びのないまま、相手に迷惑をかけたしまったという後悔だけ残って終わってしまうことがある。「話したことのない人とも意見を交流する」ことの大切さは分かっているが、「ほとんど話したことがない人」との意見の発表は正直、不安と授業に出たくない気持ちしか残っていない。このような気持ちを抱えている人は少なからずいると思う。
体育の授業は、男女別がいいと思う。力も違うし、一緒に運動をするのが、やりづらいことがあったりする。また、水泳の授業では、水着姿で異性と居たくないという女子生徒が、周りにたくさんいる。
自然・今の社会について(政治)など、家だけでなく、学校でもふれたい。

内 容
授業がわかりにくい。
生徒主体で進める授業を、もっと増やしてほしい。また、自分で学びたいことを選んで学習出来るような制度が欲しい。
外国語で英語だけではなく他の言語も学んでみたい。
社会のルールを学びたい。
図書時間に学校の近くの図書館に行ったり、読書の量を増やしたい。
楽しんで学べる機会を増やしてほしい。
もう少し効率的な授業をしてほしい。
学校の授業が簡単すぎる。
学校生活をしていてすごく楽しい。学びは少し授業の問題がわかりにくいところもあるけれどやりやすい。
社会科見学などの楽しみを増やしてほしい。
授業の内容をレベル別に分けてほしい。
授業を楽しく受けられるようにゲーム方式にするとか考えてほしい。
習っていない問題がドリルに出てくると自由進度は自分のペースでやってやりやすいけど普通にテストをやったほうが理解できるし、テストの点数も良くなるからもうちょっと対策をしてほしい。

○学校生活について

内 容
もっといろいろな学校が交流できるようにしてほしい。学校内でも交流を増やしたい。
演劇鑑賞教室のときに、上演中なのに他の人に絡んだり、喋っていて少しうるさかったのが、鑑賞するときのマナーを少しでも良いから教えてほしい。
学校生活はあと少しだけれど、中学生になっても学校生活を更に楽しみたい。また、この学校生活では学んだことがたくさんあり、良かった。
普段から、分かりやすく、優しく教えてくれる先生、いつも挨拶をしてくれたり、返してくれたりする友達、私にとって、学校は、本当に居心地が良くて楽しい場所。
もう少し豊かに良い環境で生活したい。
学校は土日の疲れを癒せて、給食も美味しくて友達との世間話もできるからすごい楽しい。
学校ではそれぞれの考えを表現しながら全員が登校通学をしている。その中で悲しくなることや苛つくこと傷つくことがあるのは必然的だと思う。なぜならその考えを不思議に思う心や呆れることもあるとは思けどお互いの考えを認め合える教育環境があると良い。
学校生活では、とても良くできていて学びもよくわかりやすい。
学校でもう少し読書の時間を増やしてほしいです。
読書の時間がとれていることがいいと思う。
みんなが安心して過ごせる学校にしたい。
残りの中学二年生の学校生活を惜しまずに楽しんで、中学三年生の学校生活は勉強中心で頑張りたい。

内 容
朝読書の時間に勉強をさせてほしい。
クラス替えをもっと考えてやってほしい。生徒の関係などをもっと考えてやってほしい。
読書時間はいらない。
学校楽しいです。
いつも、友達や先生と仲良く話せている。
補習のため、学校に7時までいたい。
学校つまらない。
学校で人間関係がおかしくなり、不登校になりたいと思う生徒が表に出さないだけでたくさんいる。なかなか大人に相談をするという事ができないため、1年に1回だけでもいいので、先生と1対1で相談する機会がほしい。生徒の声もよく聞き入れてもらいたい。
1人1人が意見を言いやすい学校を作って行きたい
学校は楽しく、給食もおいしい。
学校でもし悩みなどがあつたときは担任の先生や友達に「大丈夫？」等と声をかけてもらえるし、とても明るくて良いクラスだと思う。みんなで「いいね」などと賛成し合ったりする機会はとても良いことだと思うので続けたい。
わからない所があれば友達や先生たちがすぐに教えてくれるから、とても過ごしやすい。
イベントが少なくてみんなあまり楽しみが少ないから、文化祭や球技大会などを開催したい。
朝読書を5分から10分にしてほしいです。
学校全体で、まだ「昭和」と言われるような考え方が抜けきっていないと思う。もちろん少しずつ無くなっているものではあるのだが、現時点ではまだゼロではない。
とても充実した学校生活を送れている。
とても学校生活毎日楽しめている。
もうちょっと自分たちと向き合う時間がほしい。
特別支援学級があることによって、過ごしやすく勉強をできているので、感謝している。
学校生活は、楽しいときと楽しくないときがはっきり分かれる。
学校生活はとても楽しくて授業も楽しい。
運動会などの行事が短縮されすぎていてさみしい。運動会が短すぎるので昔のように種目を増やしたり、時間を伸ばしてほしい。
小学校はボールペンやシャーペンが禁止されていますが、別にいいと思います。確かにボールペンやシャーペンの芯が危ないのもわかりますが、せめて小学校高学年ぐらいはいいと思います。
夏暑いのにタンクトップや肩出しがだめなのはきつい。
掃除の時間面倒くさくてサボる子が多いから、音楽を流したりして掃除の時間を楽しくしたい。
持ってきていいものを増やしてほしい。

○学校設備について

内 容
トイレが汚くてとても使いにくいです。トイレを掃除することを心がけてくれればもっと過ごしやすい学校になると思います。

内 容
トイレの臭いが苦手です。トイレに行くのを我慢することがあるので、トイレをきれいにしてほしいです。
トイレを掃除することを心がけてくれればもっと過ごしやすい学校になると思います
多様な性についてもっと教えたほうが良いと思う。しっかり教えないと将来差別を生んだり理解のない人間になったりして誰かを苦しめるかもしれないから。
もう少し図書室の本を増やしてほしい。今でも十分あるが、新しく出た本が学校で読めると他にも沢山の人が読書に触れ合えて想像力が広がったり、いいことがあると思う。
校庭設備が大変悪く、部活動に支障をきたしていることは事実であり、学校側の損にしかかかっていないため、早急に地質の確認と修理を行っていただきたい。
クラスの黒板がとても消しづらいので新しく変えてほしいです。
快適な学習環境が揃っていていいです。
蛍光灯を直してほしい。
学校全体が古い。地震があったときなどに雨漏りのところなどが心配。階段も古い。
トイレが学年によって差があるので、どの学年のトイレもきれいにしてほしいです。
学校設備(特にトイレが臭いから)を整えてほしい。老朽化による汚い校舎を建て直してほしい。
エアコンがない教室があるから、もっと学校の設備を良くしてほしい。
トイレ、更衣室などをきれいにし、エアコンを付けてほしい。

○部活動・クラブ活動について

内 容
クラブの時間を長くしてほしい。
中学校の部活動で、もっといろいろな部活があったらいいと思う。
休日の部活動はなくしてほしい。
部活がもっと楽しくなるように、様々なルールをなくして自由にできるようにしてほしい。
部活動の地域移行とは何かを説明してほしい。
もっと部活の時間を増やしてほしいし、お金をかけてほしい。
部活動の地域移行についてで、その人が部活に対して専門的な知識を持っていないのであれば地域移行はしないほうが良い。
部活動などで、規則違反をしていないかをしっかり見てほしい。いじめなどがクラスにたくさん見られるので、それに気づいてほしい。
地域移行をする必要性がわからない。
部活動アンケートみたいのを多く作って欲しいです。
部活動が多い。日曜日はなくしてほしい。
部活動で顧問が人によって、対応が違うことがあるからみんな平等に接してほしい。
部活は学校でやらせてください。地域移行はやめてください。
テスト期間は必ず部活中止にし、勉強に専念させてほしい。
クラブ活動で悲しい思いをする人を出したくない。

内 容
部の活動で、校庭で外周を走ったり、階段でのトレーニングをすることがあるのですが、このときに地域の野川公園など学校外でできたらもう少しのびのびと活動できると思うのでそうできるといいなと思います。
部活動は、自分たちで作るものだけど作りやすい環境は学校側で作っていただきたいです。
部活を週4にしてほしい。
部活がきつい。勉強時間が取れず、寝不足になり、生活に支障が出ている。
部活の種類を増やしてほしい。

○教師・先生について

内 容
何かあったとき担任の先生に相談しづらい。
先生はみんなとの意見を大事にし、みんなと交流する時間を多く取ってくれているので、いつも授業が楽しい。わからないところがあってもたくさん時間を取ってくれるので、不安なくそのテーマについて探ることができるし、もし、みんなよりも早く終わることができても、先生は早く終わった人に対して問題を作ってくれるので、暇な時間や無駄な時間がなく、毎日毎日必ず成長できているように感じられる。
悪いことをしていないのに、クラスメイトに対し叱っている。
男女差別をする先生がいます。不快に思います。
学校が嫌だという気持ちを与える先生がいることがたまにあります。
もう少し平等に指導してほしい。
先生が生徒によって関わり方を変えている。
1人1人大切にするのはいいことだと思うが、1人だけ、その人だけの意思で行動に移すだけではなく、他のみんなの意見もしっかり聞き入れ、クラスを見ていくと、そんなもやもやもなくなるのではないかと思う。
先生は、すべてを見ていない。
理不尽に生徒に怒るのはやめてほしい。
先生によって規律の考え方が違うため切り分けが難しい。統一して、その規律の理由も生徒に指導してほしい。
先生しか相談乗ってもらえない。
もっとわかりやすく説明してほしい。
いままでノートの書き方とか黒板に書いてくれたからわかりやすかったのですが、今の先生は「ご自由にまとめてください。私は大事なことだけ書いとくので。」みたいな感じで問題文の大事なところ（手がかりとかヒントとか）と、求め方と、ポイントくらいしか書いてくれないから、ノートをどうまとめたら良いのかわからなくて少し困ります。今までと同じように書いてくれると良い。
先生や友達がいつも本当に親切で、助けてくれ、素晴らしい。
先生に対する気遣いが大きすぎて、あまり学校を楽しめていないので、もうちょっと子どもたちにも注目してほしい。

○パソコン・クロームブックについて

内 容
クロームブックを使って、授業をしていること多いので、いいと思う。
授業でもっとクロームブックを活用してほしい。
コンピューターの活用をもっとしてほしい。市のことをもっと知りたいので資料提供してほしい。
クロームブックのスペックが、全く足りていなくすぐにカクついたりしてしまうことが多い。また、壊れている人が多いのでどうかしてほしい。
もっとクロームブックを活用すべきだと思う。
課題や授業でタブレットを使いたい。政治や経済のことについて学びたい。
クロームを多く使いたい。ノートをつかうのは算数や理科だけがよい。
クロームブックをもっと活用してほしい。
タブレット(クロームブック)の調子が悪いのに、新しいものに変えてもらえていない人がいるので、変えてほしい。
パソコンの修理や転入生のパソコンなどが足りない。違うことにお金を使うことは必要だが、「パソコン」のこともお願いしたい。

○いじめ問題について

内 容
ふざけていると思うが、たまに男子が他のクラスメートの男の子に豚などちょっと嫌なことを言っていて本人も嫌かどうかわからないから止めることもできない。
もう少し、学校でのいじめの対策を考えてほしい。
自分のクラスでは、いじめがたまに起こります。いじめのない学校は、多分少ないと思うので、先生たちも、生徒も、教育委員会も、もっと色々な政策を考えてほしい。
いじめを解決する方法をしっかりと提示してほしい。いじめられてる訳ではないが、道筋を細かに示してくれたほうが、安心感が湧くと思うし、より早期に解決できるから。「誰に相談すると良いですよ、みんなが見守ってくれます。」だと、「相談しても解決するのかな...」「どういう解決をするの？それでまたいじめられたら？」という感情が湧いて、相談しにくいと思う。
いじめという行為を犯罪として認識できていない方々がいるため、法律に関する教育を更に強化したほうが良いと思う。
この成長年代で悪ふざけでも頭を叩く行為などは強く注意した方が良いと思う。
悪口を言われたり暴力を振られたりしている生徒がいるのに、具体的な対応を取ってもらえていない生徒がいる。アンケートなどで報告しても何も変わっていないままなのは、良くないと思います。学校としてどんな対応を取ってもらえるのか、または対応してもらえないのか、それを生徒や保護者に教えてほしいです。席替えやクラス替えが不安になってしまいます。
クラス内での悪口などの延長で、いじめがあることがある。自分もされることが多いので解決したい。
先生にいじめのことを伝えているのに対処してくれない。

○友人関係について

内 容
誰も一緒に遊んでくれない。
自分が気づかない知らない間に友達を傷つけている人がいるけど、言うのが気まずいから、なかなか注意できない。ある人がいいよと言っているのに裏で悪口を言っていて、注意すると「自分はもっと良い」と思われそうで注意できない。
学校で友達とうまく一緒に遊べない。
学校生活でたまに一人になることが多いから、他のクラスの子と話している。
学校生活は楽しいし、面白い。でも、なかなかクラスに馴染めなかったり、たまにこのクラスに居ていいのかなと思うときがある。でも、そんなときに、友達がいるからいいんだと思うときもある。
友達と仲良くしていたら最近、毎回喧嘩しちゃったりして困ってる。他の友達といたら仲間はずれだって言われて困ってる。友達に悪口を言われたりしているから少し一緒にいづらい。距離をとってたら仲間はずれだって言われて少し困ってる
クラスで陰口や悪口を言っている人がいるからそれをなくしてほしい。

○休み時間について

内 容
毎日学校に来て勉強をして中休みや昼休みが特に「短い」と思う。だからもう少し5分でもいいので中休みや昼休みの時間を増やしてほしい。
昼休みに絶対に外に出なくちゃいけないのは少し嫌だ。
休み時間を増やしてほしい。
休み時間に一人でいる子たちと学年関係なく遊ぶイベントなどを行ってほしい。
休み時間を増やしてほしい

○給食について

内 容
給食が美味しくて栄養があるものを出してくれることに本当に感謝している。
給食が美味しいから、美味しい給食をこれからも作ってほしい。
給食を班で食べたい。
給食がすごい美味しい。
親と一緒に給食を食べる機会を作ってほしい。
机をくっつけてグループになって給食を食べたい。

○進路について

内 容
中学校で、できないことがあったら心配だ。
進路について考える授業をもっと増やしてほしい
進学について不安である。

内 容
進路学習が楽しい。自分は夢だとか将来だとかよくわかっていなく、決めた高校も制服で決めため不安だ。それでも現実を見せてくれる進路学習が、不安にさせてきながらも向き合うきっかけになって好き。

○その他

内 容
もっとボールを蹴れるところを増やしてほしい。
自由に遊べる場所がほしい。
イベントごとがもっと増えてほしい。
自分たちだったら何をして楽しませるかということ。雨のときに遊べる何かを増やしてほしい。
宿題も比較的楽で自分の時間がしっかり持てるのでこの状態でも十分に良いと言える。」
小金井市は十分最高だと思う。
現在の委員会やクラブ、授業時間などで様々なことに使える時間はあるが、今の環境について改善すべきことなどを意見する時間はあまり設けられていないなと考えているので、今の環境・状況に向き合っという問題があるかと考えているか、それについてどう改善するかなどの意見を出し合うような時間なども良ければ設けて欲しい。
手話を覚えたほうが将来に耳が聞こえない人などに関われると思う。
1回好きなことが言える時間が欲しい。
みんな平等にしてほしい。宿題とか授業の使い方とか学年で統一してほしい。
公立学校は学力の面でも精神的な面でも非常に多様性、範囲があり、一人ひとりが違い、そんなところが良いところだと思っている。そのため、その良さを活かしていくためには、学力の面では、その人にある程度あった宿題・授業のレベルを選択できるようにしたり、精神的な面ではどんな人とも温かい心を持って接することができるような、小さい頃からの教育が重要だと考えている。また、精神教育においては、道徳の授業のように机上でやるばかりではなく、実際に多くの人と関わり、トラブルなども含め多様な経験を積んでいき、その中で保護者や先生が子どもの心を育てていくような「実体験」、アナログな関わりを重視した教育に効果があると考えている。
なぜこの街は子どもたちへの予算の使い道が当事者に背く様な物へととなっているのか。とても役不足だと考える。
国際交流が少し、少ないのかなと思う。
正直、小金井市の教育方針は良いが、もう少し、いじめやバリアフリー、ジェンダーレスについての教育を増やしてほしい。
学校はこのようにしょっちゅうアンケートを実施していますが、アンケート結果で学校生活が変わったことは体感上ありません。なにか変わっているのでしょうか。

小金井市教育プラン
策定にかかるアンケート調査
結果報告書

発行：小金井市教育委員会学校教育部庶務課
電話：042-387-9872
FAX：042-383-1133

発行年月：令和7年3月

国・東京都の教育をめぐる動向整理

資料2

I 国の動向

① 第4期教育振興基本計画（令和5年6月閣議決定）

コンセプト

【教育の普遍的な使命】

学制公布から約150年。教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成	日本社会に根差したウェルビーイング*の向上
<ul style="list-style-type: none"> ○将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく ○社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上等による、活力ある社会の実現に向けて「人への投資」が必要 ○Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方 ○幸福感、学校や地域でのつながり、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等が含まれ、協調的幸福と獲得的幸福のバランスを重視 ○日本発の調和と協調（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信 *身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

今後の教育政策に関する基本的な方針	教育政策の目標
<ul style="list-style-type: none"> 1 グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学びを続ける人材の育成 2 誰一人取り残されず、すべての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進 3 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 4 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 5 計画の実効性確保のための基盤整備・対話 	<ul style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成 ② 豊かな心の育成 ③ 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成 ④ グローバル社会における人材育成 ⑤ イノベーションを担う人材育成 ⑥ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成 ⑦ 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂 ⑧ 生涯学び、活躍できる環境整備 ⑨ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上 ⑩ 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進 ⑪ 教育DXの推進・デジタル人材の育成 ⑫ 指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化 ⑬ 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保 ⑭ NPO・企業・地域団体等との連携・協働 ⑮ 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保 ⑯ 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ

② こども基本法(令和5年4月施行)

- ・こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法
- ・日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的とする
- ・同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めている
- ・本計画策定にあたっては、本法に基づき、こども政策との連携とともに、こども等の意見の反映が求められている



【本計画策定にあたってのこどもの意見聴取】

- ・小学5・6年生、中学1・2年生を対象としたアンケート調査(令和6年1月実施済)
- ・市立小中学生【検討中】を対象としたワークショップの開催(令和7年6月21日実施予定)

2 都の動向

① 東京都教育ビジョン(第5次)(令和6年3月)

令和6年度から令和10年度までの5年間で、東京都教育委員会として取り組むべき基本的な方針と、その達成に向けた施策展開の方向性を示した、教育振興基本計画として策定。都内公立学校の教職員をはじめとする全ての教育関係者の「羅針盤」として、今後目指すべき方向性の共有を働きかける計画

策定の考え方

- ▶ 「東京都教育ビジョン(第4次)」期間中は、3年を超える新型コロナとの闘い等、予測困難な時代の象徴ともいべき事態が発生。いかなる状況でも児童・生徒等の学びを継続するため、東京都教育委員会は、学校と一丸となって、基本的な感染症対策の徹底やオンラインの活用、子供の不安や悩みの解消に向けた取組等を推進
- ▶ 学校は、学習機会と学力を保障する役割のみならず、子供の発達・成長を保障する役割や、居場所等の役割も担っていることについて改めて認識。こうした役割を充実させるためには、一層デジタルの力の活用等が重要
- ▶ こうした状況を踏まえ、今後も、子供たち一人ひとりに寄り添いながら、学校運営を着実に進めていくため、取り組むべき事項を第5次ビジョンとして示し、区市町村や学校、関係機関等と共有して力を合わせ実行

策定の社会的背景

- ポストコロナの転換点を経た今、社会経済活動が回復し、社会には活気が戻ってきました。こうした傾向を成長のうねりへと育て、持続可能な未来へとつなげるとき。一方、急速に進む少子高齢化や人口減少、日本の国際競争力の低下等、我が国が抱える課題も浮き彫りとなっている。こういった社会の変化に柔軟に対応し、子供の学びを支えることが重要
- ▶ 国家的課題である少子高齢化や国際競争力の低下等に対し、首都東京として、未来を切り拓く「人」の育成が急務
 - ▶ 外国人や障害者等、多様な人々が社会に参加・貢献できるような共生社会の実現が不可欠
 - ▶ 人と人のつながりが希薄化する中、あらゆる場面で誰一人取り残さない社会の実現に向けた取組が重要

「東京都教育ビジョン(第5次)」の体系

柱	基本的な方針	今後5か年の施策展開の方向性
I 自ら未来を 切り拓く力の 育成	1 全ての児童・生徒に確かな学力を 育む教育	① これからの社会を生きるために必要な基礎的、基本的な知識・技能の確実な習得 ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
	2 Society5.0 時代を切り拓く イノベーション人材を育成する教育	③ デジタルトランスフォーメーション(DX)時代を生き抜く人材の育成 ④ 新たな価値の創造に向けた専門的能力・職業実践力の育成 ⑤ 科学的に探究する力を伸ばす理数教育の推進
	3 グローバルに活躍する人材を育成 する教育	⑥ 異なる言語や文化を乗り越え関係を構築する力、新しい価値を創造する力の育成 ⑦ 豊かな国際感覚を身に付け、世界をけん引していくことができる人材の育成 ⑧ 我が国の伝統・文化等に立脚した広い視野や多様な人々と協働する力の育成
	4 主体的に社会の形成に参画する 態度を育む教育	⑨ 自分の希望する将来への道がつながっていることを実感できる学びの実現 ⑩ SDGs の理念等を踏まえた持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成
	5 豊かな心を育て、生命や人権を尊重 する態度を育む教育	⑪ 人権尊重の理念を定着させ、あらゆる偏見や差別をなくす教育の充実 ⑫ 他者への思いやりなど、豊かな心を一人ひとりの子供たちに育む教育の推進 ⑬ いじめ防止等の対策や自殺対策に資する教育等、健全育成に係る取組の推進
	6 健やかな体を育て、健康で安全に 生活する力を育む教育	⑭ 生涯を通じて、たくましく生きるために必要な体力を育む教育の推進 ⑮ 健康で充実した生活を送るための力を育む教育の推進 ⑯ 危険を予測し回避する能力や、社会の安全に貢献できる資質・能力を育む教育の推進
II 誰一人取り 残さないき め細かな教 育の充実	7 教育のインクルージョンの推進	⑰ 障害のある児童・生徒の能力や可能性を最大限に伸ばす教育の充実 ⑱ 柔軟な仕組みによる多様な学びの場を創出し、子供たちが尊重し合いながら学ぶ環境 の整備
	8 子供たちの心身の健やかな成長に 向けたきめ細かいサポートの充実	⑲ 様々な困難を抱える児童・生徒への支援の充実 ⑳ 社会的な自立を支援する学びのセーフティネットの充実
	9 家庭、地域・社会と学校とが連携・ 協働する教育活動の推進	㉑ 学校と家庭、地域・社会が一体となり、子供を見守り、育てる教育活動の推進 ㉒ 地域・社会の教育資源を活用し、子供を支え伸ばす教育活動の推進
III 子供たちの 学びを支え る教職員・学 校の力の強 化	10 これからの教育を担う優れた教員 の確保・育成	㉓ 新たな学びを担う優れた教員の養成・確保 ㉔ 教員一人ひとりのキャリアに応じた資質・能力の向上 ㉕ 教育者としての高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる管理職の育成
	11 学校における働き方改革等の推進	㉖ 教員が心身ともに健康に、やりがいを感じながら、職務に取り組める環境の整備 ㉗ 教員一人ひとりの健康保持の実現 ㉘ 公益財団法人東京都教育支援機構(TEPRO)との連携による学校支援の充実
	12 質の高い教育を支える環境の整備	㉙ 質の高い学校教育を支える環境、施設・設備等の整備 ㉚ 幅広い年代の都民の学習機会の充実

(仮称)第4次 明日の小金井教育プラン 施策体系 (案)

教育目標の考え方	基本方針の方向性	施策	主要事業	主な取組
全ての子どもが、主体的に学び合い、多様性を尊重し、創造力豊かに未来を切り拓くことを願う	【基本方針1】 未来を創造する力の育成			
	【基本方針2】 自他の人権を大切にする子供の育成			
	【基本方針3】 子供が自らの可能性を引き出す教育の推進			

第3次明日の小金井教育プランの施策体系

基本方針		第3次明日の小金井教育プラン			
		目指す子供の姿	学校の取組	教育委員会の取組	
小金井市教育委員会 教育目標 教育スローガン「笑顔いっぱい、わくわくいっぱい」	基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成	自分やまわりのよさを認め、思いやりのある子供	自他の大切さを認め、思いやりの心と公共心を育てる教育に取り組みます	施策1 人権教育の推進 ①人権教育に係る教員研修の実施【指導室】 ②いじめ防止対策推進条例の周知と運用【指導室】	①人権教育推進委員会・体罰防止研修 ②小金井市いじめ防止対策推進条例の施行・いじめ防止基本方針の徹底
	基本方針2 「個性」と「創造力」の伸長	自分のよさや可能性を精一杯伸ばそうとする子供	一人一人の個性と創造力を伸ばす教育に取り組みます	施策2 思いやりや公共心の育成 ③いじめ・不登校に関する対策【指導室】 ④体験活動・ボランティア活動の充実【指導室】 ⑤道徳教育の充実	③教育相談所ともくせい教室の充実・スクールカウンセラー(SC)とスクールソーシャルワーカー(SSW)の派遣・不登校支援員派遣・道徳授業地区公開講座 ④移動教室・林間学校・修学旅行・中学校職場体験・ボランティアカード ⑤考え、議論する道徳授業・道徳授業地区公開講座
	基本方針3 「信頼される学校づくり」と「確かな学力」の確立	知的好奇心をもって、わからないことを追求する子供	確かな学力と豊かな心を育み、保護者や地域に信頼される学校を目指します	施策3 個性と創造力を伸ばす教育の推進 ⑥その子らしさを伸ばす教育の推進【指導室】 ⑦読書活動・表現活動の充実【指導室】 ⑧国際社会を生きるための語学指導の充実【指導室】 ⑨個性や創造力を育むための文化的行事の充実【指導室】	⑥児童生徒表彰・小金井教育の日 ⑦学校図書館支援員派遣・読書感想文コンクール ⑧外国人英語指導助手(ALT)派遣・日本語指導員派遣 ⑨オーケストラ鑑賞教室・合唱鑑賞教室・小学校連合音楽会・連合作品展
				施策4 特別な支援を必要とする児童・生徒の教育の充実 ⑩(仮称)教育支援センターの設置【指導室】 ⑪特別支援教育の推進【学務課・指導室】	⑩(仮称)教育支援センター計画策定・組織再編成 ⑪特別支援教育研修会・介助員配置・専門巡回相談・学習指導員と教育支援員派遣・特別支援教室整備・心のバリアフリー事業
				施策5 確かな学力の確立 ⑫個を伸ばす授業改善と学力向上【指導室】 ⑬未来を創る力を育むICT活用の推進【学務課・指導室】	⑫全教員の授業公開・ICTを活用した教材等の共有・授業改善推進プラン ⑬ICT活用教育推進・GIGAスクール支援員派遣・次世代教育推進委員会・情報教育アドバイザー派遣・情報セキュリティの徹底
				施策6 健康・食育の推進 ⑭体育・健康・安全教育の充実【指導室】 ⑮食育の推進【学務課・指導室】 ⑯給食関連整備【庶務課・学務課】	⑭部活動指導員と部活動外部指導員配置・がん教育・セーフティ教室・水泳指導員・薬物乱用防止教室・健全育成推進協議会・子ども支援ネットワーク会議 ⑮食育推進計画・地場野菜活用 ⑯給食民間委託
				施策7 信頼される学校づくりの推進 ⑰コミュニティ・スクールの推進【指導室】 ⑱学校施設の充実【庶務課・学務課】 ⑲通学路の安全確保【学務課・指導室】 ⑳学区域の見直し【学務課】 ㉑豊かな放課後の居場所づくり【指導室】(関連部署:児童青少年課・生涯学習課)	⑰学校訪問・コミュニティスクールの運営支援・学校関係者評価・教育活動支援人材の確保 ⑱長寿命化計画策定・体育館等の冷房設置・トイレ洋式化改修 ⑲セーフティ教室・交通安全教室・カンガルーのポケット ⑳学区域・調整区域の検討 ㉑学童と放課後子ども教室の在り方検討会
				施策8 教員の研修と働き方改革 ㉒校内研修と教員の研修の充実【指導室】(関連部署:保育課) ㉓教員の働き方改革【学務課・指導室】	㉒授業改善研究推進校・研究奨励校・職層別課題別教員研修・幼保小連携・小中連携 ㉓教員の働き方改革計画・学校事務共同実施・スクールサポートスタッフ(SSS)と副校長補佐派遣・校務支援システム運用・出退勤管理システム運用

ワークショップについて

1 目的

「(仮称)第4次 明日の小金井教育プラン」を策定するにあたり、令和6年度に実施した児童・生徒アンケートと共に、児童・生徒の声を直接聞く機会として、ワークショップを開催し、計画に反映していくことを目的とする。

2 日時

令和7年6月21日(土曜)14時から(※2時間程度)

3 場所

小金井市本庁舎3階 第一会議室

4 議題

資料3-1の「施策」をテーマに検討中

5 対象者

(候補1)中学生

(候補2)中学生及び小学校5・6年生

6 募集数

40人程度

7 実施方法

ワークショップの実施方法については、検討中

小金井市教育プラン検討会議等の今後の日程

内 容	日 程	会議時間	場 所	備 考
ワークショップ	令和7年6月21日（土）	14～16時	市役所本庁舎 3階 第一会議室	
令和7年度 第2回会議	令和7年7月下旬	18～20時	調整中	教育プラン施策・主要 事業・進行管理
（参考） 令和7年第9回 教育委員会	令和7年8月26日（火）	出席不要		教育委員会定例会へ施 策体系協議
令和7年度 第3回会議	令和7年9月中旬	18～20時	調整中	教育プラン素案作成
令和7年度 第4回会議	令和7年10月中旬	18～20時	調整中	教育プラン素案作成
（参考） 令和7年第11回 教育委員会	令和7年11月11日（火）	出席不要		教育委員会定例会へ素 案協議
パブリックコメント	令和7年11月下旬 ～12月下旬	—	調整中	
令和7年度 第5回会議	令和8年1月下旬	18～20時	調整中	パブリックコメント 結果報告
（参考） 令和8年第2回 教育委員会	令和8年2月10日（火）	出席不要		教育委員会定例会へパ ブリックコメント報告
令和7年度 第6回会議	令和8年2月下旬	18～20時	調整中	教育プラン案完成
（参考） 令和8年教育委員会 （臨時会対応）	令和8年3月上旬	出席不要		教育委員会定例会に議 案上程